本文

官報　第八千二百二十一號　明治四十三年十一月十五日　火曜日　印刷局

○省令

文部省令第二十九號

東京盲學校規程左ノ通相定ム

明治四十三年十一月十五日　文部大臣　小松原英太郎

東京盲學校規程

第一條　東京盲學校ハ盲人ニ普通教育ヲ施シ竝須要ナル技藝ヲ授ケ又盲人教育ニ從事スヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條　東京盲學校ノ學科ヲ分チテ普通科、技藝科及師範科トシ技藝科ヲ分チテ音樂科及鍼按科、師範科ヲ分チテ普通科、音樂科及鍼按科トス

第三條　技藝科ハ普通科ヲ修ムル者ヲシテ其ノ一分科ヲ兼修セシム但シ生徒ノ志望ニ依リ之ヲ課セサルコトヲ得

技藝科ハ之ヲ專修セシムルコトヲ得

第四條　東京盲學校ノ修業年限ハ普通科ニ在リテハ五箇年、技藝科ニ在リテハ音樂科六箇年、鍼按科四箇年、師範科ニ在リテハ普通科五箇月乃至一箇年、音樂科三箇年、鍼按科二箇年トス

第五條　普通科ノ教科目ハ修身、國語、算術、歴史、地理、理科、唱歌、體操トシ技藝科ノ學科目ハ音樂科ニ在リテハ修身、音樂、體操、鍼按科ニ在リテハ修身、解剖生理、病理、衞生、鍼治、按摩、體操トス

普通科ニ在リテハ女兒ノ爲ニ隨意科目トシテ裁縫ヲ加フルコトヲ得

第六條　師範科ノ學科目ハ普通科ニ在リテハ修身、國語、算術、教育、唱歌、體操トシ音樂科ニ在リテハ修身、國語、教育、音樂、體操、鍼按科ニ在リテハ修身、國語、教育、解剖生理、病理、衞生、鍼治、按摩、體操トス

第七條　普通科及技藝科ノ音樂科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十年以上十六年以下タルヘシ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ學校長ニ於テ便宜斟酌スルコトヲ得

技藝科ノ鍼按科ヲ兼修シ又ハ之ニ入學スルコトヲ得ル者ハ普通科第二學年ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第八條　師範科ノ普通科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有スル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有シ男子ニ在リテハ年齢二十年以上女子ニ在リテハ年齢十八年以上ノ者タルヘク音樂科又ハ鍼按科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ技藝科ヲ兼修シタル普通科ノ卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル公立私立ノ盲學校卒業者タルヘシ

第九條　普通科及技藝科ノ生徒中品行方正學力優等ナル者及師範科ノ生徒ニハ在學中學資ヲ補給スルコトアルヘシ

學資補給ニ關スル規程ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

第十條　生徒疾病ニ罹リ若ハ學業進マス又ハ品行修ラサルカ爲成業ニ適セストト認ムルトキハ學校長ハ退學ヲ命スヘシ

第十一條　師範科ノ生徒ニシテ在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ補給セラレタル學資ヲ償還スヘシ

文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

附則

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ對シテハ尚從前ノ規程ニ依ルコトヲ得

文部省令第三十號

東京聾唖學校規程左ノ通相定ム

明治四十三年十一月十五日　文部大臣　小松原英太郎

東京聾唖學校規程

第一條　東京聾唖學校ハ聾唖者ニ普通教育ヲ施シ竝須要ナル技藝ヲ授ケ又聾唖教育ニ從事スヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條　東京聾唖學校ノ學科ヲ分チテ普通科、技藝科及師範科トシ普通科ヲ分チテ尋常科、高等科、技藝科ヲ分チテ圖畫科、木工科、裁縫科、師範科ヲ分チテ普通科、圖畫科、木工科、裁縫科トス

許可 8211 本文

第三條　技藝科ハ普通科ヲ修ムル者ヲシテ其ノ一分科ヲ兼修セシム但シ生徒ノ志望ニ依リ之ヲ專修セシムルコトヲ得

技藝科ハ之ヲ專修セシムルコトヲ得

第四條　東京聾唖學校ノ修業年限ハ普通科ニ在リテハ尋常科六箇年、高等科二箇年、技藝科ニ在リテハ五箇年、師範科ニ在リテハ普通科五箇月乃至一箇年、圖畫科、木工科、裁縫科各二箇年トス

第五條　普通科ノ教科目ハ尋常科ニ在リテハ修身、國語、算術、體操トシ高等科ニ在リテハ修身、國語、算術、歷史、地理、理科、體操トス

前項教科目ノ外生徒ノ志望ニ依リ圖畫、手工、裁縫ノ一科目又ハ數科目ヲ課スルコトヲ得

第六條　技藝科ノ學科目ハ圖畫科ニ在リテハ修身、圖畫、體操、木工科ニ在リテハ修身、木工、圖畫、體操、裁縫科ニ在リテハ修身、裁縫、圖畫、體操トス但シ裁縫科ノ圖畫ハ之ヲ課セサルコトヲ得

第七條　師範科ノ學科目ハ普通科ニ在リテハ修身、國語、教育、體操トシ圖畫科、木工科、裁縫科ニ在リテハ修身、國語、教育竝技藝ニ關スル學科目トス

第八條　尋常科ニ入學スルコトヲ得ルモノハ年齡十年以上十六年以下タルヘシ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ學校長ニ於テ便宜斟酌スルコトヲ得

高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常科ノ卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

技藝科ヲ兼修シ又ハ之ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常科第三學年ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第九條　師範科ノ普通科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有スル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有シ男子ニ在リテハ年齡二十年以上女子ニ在リテハ年齡十八年以上ノ者タルヘク技藝科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ技藝科ヲ兼修シタル高等科ノ卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル聾唖學校卒業者タルヘシ

第十條　東京盲學校規程第九條乃至第十一條ハ東京聾唖學校ニ適用ス

附　則

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ對シテハ尚從前ノ規程ニ依ルコトヲ得

文部省令第三十一號

東京盲學校竝東京聾唖學校ノ師範科卒業者服務規則左ノ通相定ム

明治四十三年十一月十五日　文部大臣　小松原英太郎

第一條　東京盲學校及東京聾唖學校ノ師範科卒業者ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ト同一ノ期間文部大臣ノ指定ニ從ヒ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

第二條　師範科卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ前條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル者ハ其ノ理由ヲ具シ地方長官又ハ東京盲學校長若ハ東京聾唖學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ出願シタル者アルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ具シ願書ヲ進達スヘシ

第三條　師範科卒業者ニシテ前條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキハ其ノ猶豫期間ハ服務年數ニ算入セス

第四條　師範科ノ卒業者ニシテ第一條ノ義務ヲ盡サヽルトキハ文部大臣ノ指揮ニ依リ補給シタル學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシム但シ第二條ニ依リ義務ヲ免除セラレタル者ハ學資ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

附　則

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○訓令

朝鮮總督府訓令第五十三號

朝鮮總督府所屬官廳會計事務章程左ノ通定ム

明治四十三年十月二十六日　朝鮮總督　子爵寺內正毅

朝鮮總督府所屬官廳會計事務章程

第一章　總則

第一條　左記各廳ノ長官ヲ以テ分任仕拂命令官トス

鐵道局

通信局

警務總監部

道（京畿道ヲ除ク）

稅關

觀測所

航路標識管理所

前項各廳ノ外必要ニ應シ分任仕拂命令官ヲ置クコトアルヘシ

慈惠醫院ノ經費ハ道長官ニ其ノ仕拂ヲ委任ス但シ京畿道ハ之ヲ除ク

第二條　左記各廳ノ長官ヲ以テ歲入徵收官トス

警務總監部

裁判所

監獄

鐵道局

通信局

道及府郡

營林廠

稅關

觀測所

航路標識管理所

印刷局

臨時土地調查局

勸業模範場

工業傳習所

平壤鑛業所

官立學校

醫院

專賣局

警察署

各級裁判所同一地ニ在ル場合ニ於テハ上級裁判所ノ長其ノ職務ヲ行フ

平壤水道事業ノ歲入ハ平安南道長官、仁川水道事業ノ歲入ハ仁川府尹ヲ以テ歲入徵收官トス

第三條　物品會計官吏ヲ置キタル各廳ノ長官ヲ以テ物品出納命令官トス

第四條　各廳ノ長官ハ部下ノ官吏ノ中ヨリ各左ノ官吏ヲ命免シ申報スヘシ

一　收入官吏、現金前渡ヲ受クル官吏、歲入歲出外現金出納官吏、物品會計官吏

二　會計規則第六十七條第二項第九十一條第一項及物品會計規則第十條ノ二ノ檢查官吏

三　會計規則第九十二條及物品會計規則第十三條ノ立會官吏

四　會計規則第百條及物品會計規則第十五條ノ代理調製官吏

五　明治二十六年九月大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依ル保管物取扱主任官

各級裁判所同一地ニ在ル場合ニ於テハ各裁判所ノ長合同シテ其ノ內ノ一人ニ命シテ各廳ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第五條　證明書類及報告書類ニシテ規定ノ期間內ニ發送スルコト能ハサルモノアルトキハ其ノ事由及提出期日ヲ申報スヘシ

第六條　出納官吏交替ヲ爲シタルトキハ明治二十三年四月大藏省訓令第五十四號ニ依リ事務ノ引繼ヲ爲スヘシ

前項ノ引繼ヲ了シタルトキハ前任後任官吏連署ヲ以テ所屬長官ヲ經由シ其ノ旨屆出ツヘシ

第七條　會計規則第九十一條ニ依リ出納官吏ノ檢查ヲ爲シタル時ハ卽日檢定書ヲ提出スヘシ

第八條　出納官吏又ハ保管物取扱主任其ノ保管ニ係ル現金若ハ保管物ヲ紛失又ハ亡失シタルトキハ速ニ其ノ原因、前後ノ狀況等事實ノ詳細ヲ具シ所屬長官ヲ經テ申報スヘシ被詐取ノ場合亦同シ

第九條　鐵道局、通信局、營林廠、平壤鑛業所ノ會計ニ關シテハ本章ノ規定ノミヲ適用ス

第二章　豫算

第十條　各廳ノ長官ハ別紙第一號書式ニ依リ歲入歲出ノ概算書ヲ調製シ前年度五月十五日迄ニ提出スヘシ

歲入歲出ノ科目ハ每年度之ヲ本府ヨリ通達ス

第十一條　豫算各目ノ流用又ハ節ノ新設ヲ要スルトキハ第二號書式ノ稟請書ヲ提出スヘシ

豫算各節ノ流用ヲ要スルトキハ各廳ノ長官之ヲ決定シ出納ノ完結シタルトキ第三號書式ノ報告書ヲ提出スヘシ

第十二條　豫算ノ各目ニ不足ヲ生スルトキハ第四號書式ノ增額稟請書ヲ提出スヘシ

豫算配賦額ニ過剩ヲ生シ又ハ生スヘキ見込アルトキハ各目限リノ金額及事由ヲ每年度十一月三十日迄ニ報告スヘシ但シ報告後異動ヲ生スルトキハ其ノ時時更ニ報告スヘシ

許可 8221 号 本文

第十三條　各廳ノ長官ハ第五號書式ニ依リ毎年度末ニ於ケル經費ノ現計書ヲ作リ四月五日迄ニ提出スヘシ

第三章　歳入

第十四條　稅外諸收入ヲ取扱フ歳入徴收官ハ歳入ヲ調定シ十五日以内ニ於テ適宜納入ノ期日ヲ定メ納入金庫所在地ニ居住スルトキハ明治二十六年十一大藏省令第三十二號第四號樣式ノ收入收納取扱規程ノ樣式ニ依リ、納入金庫所在地外ナルトキハ明治四十三年十大藏省令第四十四號朝鮮總督府通信官署現金受拂規則第三條ニ依リ各納入ニ對シ第二號樣式ノ納入告知書ヲ發シ現金ヲ金庫又ハ收入官吏若ハ通信官署ノ出納官吏ニ納付セシムヘシ但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトナク現金ヲ收入官吏ニ即納セシムルコトヲ得

前項ニ依リ調定シタル金額ハ第六號書式ノ調定原簿及明治二十六年十一大藏省令第三十二號第十一號樣式ノ徴收簿ニ之ヲ登記スヘシ

第十五條　歳入徴收官ハ金庫、收入官吏又ハ通信官署出納官吏ヨリ收入濟通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ帳簿ニ收入濟ヲ登記スヘシ但シ通信官署出納官吏ヨリ受ケタル收入濟ノ通知ニ對シテハ摘要ニ區別シテ掲上シ其ノ口數ヲ記載シ置クヘシ

甲年度ニ發シタル納入告知書ニ依リ、金庫、收入官吏又ハ通信官署出納官吏ニ於テ翌年度七月一日以降ニ領收シタルモノハ乙年度所屬トシテ取扱フヘキニヨリ其ノ收入濟通知額ハ乙年度歳入ノ收入濟ニ登記スヘシ但シ第二十五條第二項ニ依リ丙年度以降順次繰越シタルモノハ收入ノ日ノ屬スル年度ノ收入濟額トシテ登記スヘシ

第十六條　歳入徴收官ハ監獄分監、稅關支署其ノ他歳入徴收官ヲ置カサル各官署ノ收入官吏ヨリ歳入金領收ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ前二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條　歳入徴收官ハ通信官署出納官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ニ對スル金庫領收濟通知ヲ受ケタルトキハ襲ニ出納官吏ノ返付シタル領收濟通知書ニ對査スヘシ

收入官吏竝通信官署出納官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ハ金庫領收通知ヲ以テ拂込ノ整理ヲ爲スヘシ

第十八條　收入官吏納入告知書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ之ニ接續セル領收證書ヲ、納入告知書ニ依ラス現金ヲ領收シタルトキハ明治二十六年十一大藏省令第三十二號第二號樣式ノ領收證書ヲ納人ニ交付シ領收ノ旨ヲ速ニ歳入徴收官ニ報告スヘシ

甲年度ニ發シタル納入告知書ヲ以テ乙年度七月一日以降現金ヲ領收シタルトキハ之ニ準シ乙年度所屬トシテ之ヲ取扱ヒ領收證書及通知書ニ乙年度ト記入スヘシ

キハ收入官吏ヨリ關係金庫ニ其ノ訂正（科目訂正ノ場合ヲ除ク）ヲ請求スヘシ

前各項ニ依リ金庫ニ於テ誤記ノ訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日限リトス

第二十五條　歳入徴收官ハ每年度收入未濟ニシテ翌年度ヘ繰越スモノアルトキハ明治二十四年八月大藏省訓令第六十八號ニ依リ之ヲ取扱ヒ最終歳入徴收報告書ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

繰越ニ係ル歳入ニシテ尙後年度ニ繰越ヲ要スルモノアルトキハ明治二十五年四月大藏省訓令第二十五號ニ依リ之ヲ取扱ヒ明治三十一年二月大藏省訓令第十二號ノ歳入繰越額計算書ヲ翌年度四月十五日迄ニ提出スヘシ

第二十六條　歳入徴收官ハ歳入金ノ過誤納ヲ發見シ其ノ下戻ヲ要スルトキハ第十號書式ノ過誤納下戻請求書ヲ調製シ權利者ノ請求書ヲ添ヘ提出スヘシ

第二十七條　歳入徴收官ハ明治三十四年六月會計檢査院達第四號租稅外歳入徴收額證明規程ニ依リ歳入徴收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌年度四月二十日迄ニ提出スヘシ

第二十八條　收入官吏ハ明治三十三年五月會計檢査院達第二號收入證明規程ノ樣式ニ依リ收入計算書ヲ調製シ證憑書類及會計規則第九十三條ノ檢定書ヲ添ヘ翌年度四月十五日迄ニ之ヲ歳入徴收官ニ送付シ歳入徴收官ハ四月二十日迄ニ下檢査ヲ執行シ第十一號書式ノ下檢査書ヲ添ヘ之ヲ本府ニ提出スヘシ

通信官署現金受拂規則ニ依リ通信官署出納官吏ニ拂込ミタルモノハ共ノ領收證書ヲ以テ證憑書ト爲スヘシ

第二十九條　歳入徴收官交替シタルトキハ直ニ關係ノ金庫ヘ其ノ旨通知スヘシ

收入官吏交替シタルトキハ共ノ在職期間取扱ヒタル收入ノ計算書ヲ調製シ十五日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十條　租稅關稅、稅關雜收入、驛屯土ノ收入ニ就テハ別ニ之ヲ定ム

第四章　歳出

第三十一條　警務總監部、道、稅關、觀測所及航路標識管理所ノ仕拂命令官ハ豫算ノ範圍內ニ於テ各所屬官署（警察署ヲ除ク）ニ會計取扱者ヲ置キ其ノ經費ハ（電信及金庫振替竝通信官署繰替拂ノ方法ニ依リ）直接ニ仕拂フヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ現金前渡ヲ受ケル官吏ヲ命シテ仕拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　必要アルトキハ左ノ各廳ニ於テハ現金前渡ヲ受ケル官吏ヲ置クコトアルヘシ

控訴院（京城ヲ除ク）
地方裁判所（京城及控訴院所在地ヲ除ク）
監獄（京城ヲ除ク）
印刷局
煉瓦製造所
專賣支局
勸業模範場及支場

第三十三條　左ノ各所ニハ會計事務取扱者ヲ置キ其ノ經費ハ所管仕拂命令官又ハ前渡官吏ニ請求セシムヘシ但シ必要ノ費目ニ限リ特ニ現金前渡ヲ受ケル官吏ヲ置クコトヲ得

區裁判所
監獄分監
警察分署巡查駐在所

第三十四條　仕拂命令官歳出ヲ支出セムトスルトキハ會計規則第四章ノ規定ニ從ヒ仕拂命令ヲ發スヘシ

第三十五條　仕拂命令發行ニ關スル取扱手續ハ明治二十六年十一大藏省訓令第四十號大藏省所管經費仕拂命令、集合仕拂命令、同請求書等ニ關スル取扱手續ニ依ルヘシ

第三十六條　仕拂命令等記載例ハ明治二十六年十一大藏省令第三十二號第六號樣式ニ詳記シアルヲ以テ各同樣式ニ從フヘシ

第三十七條　金庫所在地外ノ債主ニ仕拂ヲ要スルトキハ通信官署現金受拂規則第七條ニ依リ債主居住地最近ノ通信官署ヲ指定シ第六號樣式ニ依リ歳出金繰替拂通知書及同證票ヲ發行シ繰替拂通知書ハ債主ニ證票ハ送金仕拂命令又ハ送金集合仕拂命令ト共ニ金庫ニ送付スヘシ

繰替拂證票ニ對シ發行ノ日ヨリ九十日間ニ現金支拂ノ請求無キモノハ指定通信官署ヨリ返送スヘキニヨリ之ヲ保管シ後日通信官署ノ請求ニ從ヒ更ニ送付スヘシ

通信官署ヨリ繰替拂證票未著ノ通知ヲ受ケタルトキ金庫ニ就キ之ヲ調査シ途中亡失シタル事實ヲ認メタルトキハ再ヒ之ヲ發行シ再發行ノ旨ヲ記入シ金庫ヲ經テ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條　仕拂命令官豫備金ヲ以テ支出スヘキ經費ノ仕拂ヲ要スルトキハ金額事由ヲ記スル所ノ計算書ヲ作リ本府ニ請求スヘシ

第三十九條　仕拂命令官仕拂命令又ハ集合仕拂命令ヲ發行シタル後科目（項）又ハ年度ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ訂正ノ結果仕拂豫算額ニ超過セサル場合ニ限リ科目年度訂正書ヲ調製シ金庫ニ訂正ヲ請求スヘシ但シ訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日限リトス

前項訂正ノ結果仕拂豫算額ニ超過スルトキハ事由ヲ具シテ指揮ヲ請フヘシ

第四十條　仕拂命令官會計法第二十三條ニ依リ歳入ニ納付シ又ハ定額ニ戻入ヲ爲サムトスルトキハ明治二十二年十二大藏省令第十六號ニ依リ取扱フヘシ金庫所在地外ニ於テ歳出金ヲ返納セントスル之ヲ定額ニ戻入セムトスルトキハ通信官署現金受拂規則第四條第三號樣式ノ返納告知書ヲ發スヘシ

許可 8221 号 大正

前各項ニ依リ發行シタル返納告知書ニシテ乙年度五月三十一日ヲ過キ定額ニ戻入セサルモノアルトキハ之ヲ歳入ニ納付スヘキ年度、科目、歳入徴收官ノ官氏名等ヲ關係金庫ニ通知シ同時ニ歳入ニ編入方ヲ歳入徴收官ニ通知スヘシ

第四十一條　會計規則第三十五條但書ニ依リ金庫ニ送付シタル仕拂命令ニシテ受取人ニ現金交付前誤拂過渡ニ出テタルコトヲ發見シタルトキハ明治二十三年十月大藏省令第二十七號ニ依リ取扱フヘシ

第四十二條　仕拂命令官支出シタルトキハ印鑑ヲ調製シ之ヲ關係金庫ニ送付スヘシ

第四十三條　仕拂命令官ハ第十二號書式ニ依リ毎月仕拂命令濟額報告書ヲ調製シ（金庫ヨリ送付スル仕拂命令受領濟額報告書ト對査ヲ遂ケ）翌月五日迄ニ本府ニ提出スヘシ

第四十四條　仕拂命令官ハ毎年度第十三號書式ニ依リ經費決算報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日以内ニ其ノ廳ヲ發シ提出スヘシ

第四十五條　仕拂命令官ハ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ仕拂計算書及證憑書ノ下檢査ヲ遂ケ下檢査書（書式第十一號ニ準ス）ヲ添ヘ速ニ本府ニ提出スヘシ

第四十六條　仕拂命令官ハ第十四號乃至第十九號書式ノ帳簿ヲ設置スヘシ

第四十七條　現金前渡ヲ受ケタル官吏ヲ設置スル官廳ノ經費ハ年度開始ノ際凡ソ二箇月分ヲ前渡スヘキニヨリ出納官吏ハ爾後第二十號書式ノ請求計算書（二箇月分以内）ヲ作リ請求スヘシ

第四十八條　前渡金各目ノ現金ハ交互流用スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ至急流用ノ必要アルトキハ之ヲ決行シ速ニ仕拂命令官ニ報告スヘシ

第四十九條　出納官吏前渡金ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ現金出納簿及第二十一號書式ノ經費內譯簿ニ登記スヘシ

第五十條　金庫所在地ノ出納官吏ハ明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第一條ニ依リ現金ヲ總テ金庫ヘ義務委託スヘシ金庫ヘ義務委託ヲ爲サムトスル時ハ明治二十六年十二月大藏省訓令第六十三號樣式ノ拂込書ヲ調製シ之ニ現金ヲ添ヘ金庫ヘ送付スヘシ

第五十一條　各廳長官出納官吏ヲ任命シタルトキハ其ノ資格氏名ヲ金庫ニ通知シ出納官吏ハ其ノ資格氏名ヲ記シタル印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

第五十二條　金庫ノ設置ナキ地ノ出納官吏ハ出納官吏現金取扱規則第十一條ノ但書ニ依リ取扱フヘシ

前項ノ場合ニ於テ利息ヲ生シタルトキハ明治三十三年七月大藏省訓令第五十六號ノ規定ニ依ルヘシ

第五十三條　左ニ揭ク經費ハ債主ノ請求ヲ俟タス仕拂ノ手續ヲ爲シ其ノ他ハ凡テ其ノ請求ニ依リ之ヲ仕拂フヘシ

雇員給俸人料（臨時傭人ニ係ル傭人料ヲ除ク）囑託手當醫師薬給金慰勞金宿舍料被服費代料ニ限ル）地所家屋其ノ他借料諸謝金墓地管理費看守傭給及給與等

第五十四條　出納官吏經費ノ仕拂ヲ要スルトキハ第二十二號乃至第二十四號書式ノ仕拂囘讀書ヲ作リ經費內譯簿ニ對照シ前渡ヲ受ケタル現金及豫算額ニ超過スルコトナキヤ又支出科目及所屬年度ヲ誤ルコトナキヤ豫算ノ目的ニ違フコトナキヤヲ調査シ長官ノ決定ヲ經テ執行スヘシ

第五十五條　出納官吏旅費ノ概算渡ヲ爲サムトキハ第十五號書式ノ概算渡整理簿ニ登記シ歸廳後五日以内ニ之カ精算ヲ爲サムヘシ

第五十六條　出納官吏經費ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ直ニ現金出納簿及經費內譯簿ニ登記スヘシ

第五十七條　仕拂命令官ハ明治二十二年五月會計檢査院達第一號支出證明規程ニ依リ毎月支出計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ本府ニ提出スヘシ

第五十八條　仕拂命令官ハ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出セル仕拂計算書及證憑書ヲ檢査シ下檢査書（書式第十一號ニ準ス）ヲ添ヘ本府ニ提出スヘシ

第五十九條　出納官吏ハ明治二十三年五月會計檢査院達第二號仕拂證明規程ニ依リ毎月仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ仕拂命令官ニ送付スヘシ

前項ノ計算書ニハ第二十五號書式ノ所屬長官ノ保證書ヲ添附スヘシ

第六十條　出納官吏ノ每年度第二十六號書式ニ依リ前渡金受拂明細書ヲ調製シ最終仕拂計算書ニ添附スヘシ

第六十一條　出納官吏過誤拂ヲ發見シタルトキハ速ニ囘收ノ手續ヲ爲シ現金出納簿及經費內譯簿ニ登記シ又科目違ヲ發見シタルトキハ經費內譯簿ニ更正ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ誤謬訂正ハ第二十七號書式ニ依リ背規事項報告書ヲ提出スヘシ但シ當月分ノ誤謬ニシテ帳簿及證憑書共訂正ヲ了シタルモノヲ除ク

前項誤謬ハ第二十八號書式ニヨリ背規事項處分濟報告書ヲ作リ訂正ヲ爲シタル月ノ仕拂計算書ニ添附スヘシ

最終仕拂計算書提出後前項ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ第二十九號書式ノ報告書ヲ提出スヘシ

第六十二條　出納官吏過年度ニ屬スヘキ經費ノ仕拂ヲ要スルモノアル時ハ金額及事由ヲ具シ仕拂命令官ノ指揮ヲ請フヘシ

前項ノ事實ヲ調査シ相當措置ヲ爲スヘシ

第五章　工事及物件ノ賣買貸借

第一節　工事

第六十三條　各廳ノ營繕工事ハ本府ニ於テ執行ス但シ時宜ニ依リ各廳ニ於テ執行セシムルトキハ此ノ規程ニ依リ取扱フヘシ

第六十四條　各廳營繕工事ハ當分ノ內隨意契約ニ依リ指名入札ノ方法ヲ以テ

請負ニ付スヘシ但シ一廉二千圓未滿ノ工事又ハ特種ノ理由アル場合ハ指名入札ノ方法ニ依ラス直ニ營業者ト契約ヲ締結スルコトヲ得

第六十五條　工事請負契約ハ各廳ノ長官之ヲ擔任スヘシ但シ長官事故アルトキハ他ノ官吏ニ擔任セシムルコトヲ得

第六十六條　工事請負入札及工事請負契約ハ左ノ區分ニ依リ保證金ヲ提供セシムヘシ但シ特種ノ理由アル場合ハ保證人ヲ立テシメ本條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

一　入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上

二　契約保證金　請負金額ノ百分ノ十

第六十七條　保證金ハ現金又ハ國債證券ノ價格ハ額面トス

第六十八條　工事請負入札者ニハ一定ノ期間內ニ工事仕樣書繪圖面契約書案、工事請負人心得書及現場等ヲ熟覽セシメ入札書提出前ニ入札保證金ヲ納付セシムヘシ

第六十九條　入札書ハ第三十號書式ニ依リ之ヲ作リ封緘ノ上其ノ氏名ヲ表記セシメ指定ノ時刻迄ニ差出サシムヘシ但シ代理人入札ノ場合ニハ其ノ委任狀ヲ要ス

一旦差出シタル入札書ハ之ヲ引換又ハ變更スルコトヲ得ス

第七十條　契約擔任者ハ豫定價格調書ヲ作リ封緘ノ上之ヲ開札ノ場所ニ置クヘシ

開札ハ入札人ノ面前ニ於テ契約擔任者之ヲ行フヘシ

第七十一條　開札ノ上各人ノ入札總テ豫定價格ニ超過シタルトキハ直ニ出席入札人ヲシテ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

第七十二條　入札保證金ハ入札執行ノ後落札人ヲ除クノ外卽日之ヲ還付シ落札人ノ分ハ契約締結ノ上之ヲ還付スヘシ

第七十三條　契約擔任者ハ落札ノ當日ヨリ起算シ五日以內ニ契約保證金ヲ納付セシメ契約ヲ締結スヘシ

落札人前項ノ期間內ニ契約ヲ締結セサルトキハ該落札ヲ無效トシ入札保證金ハ政府ノ所得トス

第七十四條　工事竣功シタルトキ又ハ契約ニ依リ工事ノ既濟部分ニ對シ代價ノ一部分ヲ仕拂ハムトスルトキハ會計規則第六十七條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二節　物件ノ賣買貸借

第七十五條　隨意契約ニ依リ物品ヲ購買セムトスルトキハ見本、雛形、圖面等ヲ示シ二人以上ヨリ見積書ヲ徵シ低價ノモノト契約スヘシ但シ一廉五十圓未滿ノモノ又ハ特種ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條　物品ノ購買ハ其ノ廳長官ノ決定ヲ經テ之ヲ執行スヘシ

第七十七條　物品ノ納付シタル時ハ精密ニ檢査ヲ遂ケタル上之ヲ受取ルヘシ

第七十八條　不用物品ヲ賣却セムトスルトキハ豫メ其ノ價格ヲ評定シ現品ヲ

見本

第八十九條　通信官署ヲシテ繰替受入レヲ爲サシメタルモノノ拂渡ヲ要スルトキ通信官署現金受拂規則第十條ニ依リ當初繰替受入ヲ爲シタル官署ヲ指定シ第八號樣式ノ拂渡證書ヲ調製シ之ヲ權利者ニ交付シ領收證書ヲ徵スヘシ

第九十條　保管金ヲ歲入ニ納付スル場合ニ於テハ保管物取扱規程第十四條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第九十一條　歲入歲出外現金出納官吏ハ明治二十四年三會計檢查院達第二號歲入歲出外現金出納證明規程ニ依リ歲入歲出外現金出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌年度四月十日迄ニ、又交替ノ時ハ交替後十日以內ニ各廳ノ長官ニ提出シ各廳ノ長官ハ速ニ下檢查ヲ執行シ下檢查書（書式第十一號ニ準ス）ヲ添ヘ提出スヘシ

第七章　物品

第九十二條　物品ヲ大別シテ左ノ三種トス

第一類　備品
第二類　消耗品
第三類　動物

第九十三條　物品會計官吏ハ第三十三號書式ノ帳簿ヲ備ヘ出納ヲ登記シ現品ヲ整理スヘシ

物品會計官吏ノ第三十三號書式ノ帳簿ヲ備ヘ出納ヲ登記シ現品

作業ヲ爲ス官廳ニ在リテハ左ノ如ク類別ス

第一類　廳用品
　備品
　消耗品
第二類　作業品
　器具機械
　消耗品
　素品
　製品
第三類　獄用品
　備品
　消耗品
　動物

前項帳簿ノ外便宜補助簿ヲ備フルコトヲ得

第九十四條　左ノ物品ハ物品會計官吏ノ保管外トシ物品出納簿ニ登記スルヲ要セス

一　購入ノ際直ニ消費スルモノ
二　公文簿册、電信符號、電話番號帳、官報及新聞雜誌等

第九十五條　物品ハ命令アルニ非サレハ出納スルコトヲ得ス

命令ノ形式ハ便宜之ヲ定ムヘシ

第九十六條　職員ノ執務上專用物品ノ品類及員數ハ別ニ之ヲ定ム

第九十七條　左ノ物品ヲ特別文具トシ官費ヲ以テ支辨ス

一筆墨　辭令用筆（廳版用、受付用、訟廷用（公衆用ニ限ル））
一ペン　ペン軸、インキ
一肉池及印肉　簿記用、旅券用
一製圖具　官印押捺用

第九十八條　物品會計官吏ノ下ニ物品取扱主任ヲ置キ物品ノ受拂及共用品ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十九條　物品取扱主任ハ第三十四號書式ノ帳簿ヲ置キ出納ヲ登記シ現品ヲ整理スヘシ

第一百條　職員ノ物品ハ各專用者ヲシテ保管ノ責ニ任セシメ物品會計官吏若ハ物品取扱主任之ヲ監督スヘシ

共用品ハ物品會計官吏若ハ物品取扱主任ノ保管トシ第三十五號書式ノ內譯簿ヲ設ケ整理スヘシ

第一百一條　物品會計官吏ハ少クトモ每年一回其ノ所管ニ係ル物品取扱主任ノ帳簿及現品ヲ檢查スヘシ

第一百二條　物品ヲ故意怠慢ニ依リ亡失毀損シタルトキハ其ノ者ヲシテ物品又ハ代價ヲ以テ辨償セシムヘシ

物品ノ亡失又ハ毀損者ヲ知ルコト能ハサル場合ニハ保管者辨償ノ責ニ任スヘシ但シ避クヘカラサル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一百三條　物品中使用ニ堪ヘサルモノ又ハ從來使用ノ目途ナキモノハ上級廳長官ニ經伺ノ上處分スヘシ

第一百四條　各廳長官ハ每年一回檢查ノ官吏ヲ命シ所屬當該會計官吏ノ保管スル物品ノ全部ヲ檢查セシメ物品出納計算書ニ準シタル調書ヲ作ラシメ提出スヘシ

前項ノ檢查ハ便宜物品出納計算書下檢查官ニ於テ現品照合ト同時ニ之ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ物品出納計算書ト同一ナル旨ヲ記載シタル文書ヲ以テ調書ニ代ヘ物品會計官吏之ニ署名スヘシ

第一百五條　物品會計官吏ハ物品會計規則第十五條ニ基キ明治三十四年四會計檢查院達物品出納證明規程ニ依リ物品出納計算書ヲ作リ證憑書類ヲ添ヘ年度經過後又ハ物品會計官吏交替後一箇月以內ニ物品出納命令官ニ提出スヘシ

第一百六條　物品出納命令官ハ下檢查ヲ遂ケ下檢查書（書式第十一號ニ準ス）ヲ添ヘ提出スヘシ

第八章　官有財產

第一百七條　各廳ノ長官ハ官有財產ノ保管及取締ヲ爲スヘシ

第一百八條　各廳ノ長官ハ常ニ官有財產ノ現況ヲ視察シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　官有財產ノ使用ハ適當ナリヤ否ヤ
二　官有財產ニ損害ヲ生スヘキ事情ナキヤ否ヤ
三　官有財產ノ毀損又ハ荒廢ニ屬スルモノナキヤ否ヤ
四　土地ノ境界ニ異狀ナキヤ否ヤ

第一百九條　官有財產ハ左ノ區別ニ從ヒ整理スヘシ

一　土地及其ノ附屬物
二　營造物及其ノ附屬物
三　家屋及其ノ附屬物
四　船舶及其ノ附屬物

第一百十條　官有財產ノ賣買讓與交換貸付其ノ他物權ノ得喪又ハ變更ニ關スル事項及現狀ノ變更ハ經伺ノ上處理スヘシ

第一百十一條　各廳ノ長官ハ第百九條ニ掲ケタル區別ニ從ヒ第三十六號書式ノ官有財產臺帳ヲ備ヘ其ノ所管ノ官有財產ヲ整理スヘシ

第一百十二條　官有財產臺帳ニ登記シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ更正スヘシ

第一百十三條　各廳ノ長官ハ其ノ所屬ノ土地、建物及船舶ノ圖面ヲ備フヘシ

地圖及建物圖ハ第三十七號記載例ニ依リ、船舶ノ圖面ハ適宜之ヲ調製スヘシ

圖面ニ變更ヲ要スヘキ事項ノ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ更正スヘシ

第一百十四條　官有財產ノ價格ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ定ムヘシ

一　買上ニ係ルモノハ其ノ買上代價
二　新築ニ係ルモノハ其ノ建築費
三　交換ニ依リテ得タルモノハ其ノ評定價格
四　所管轉換ニ依リテ得タルモノハ其ノ目錄價格
五　買上代價若ハ建築費ノ不明ノモノハ總テ其ノ評定價格

第一百十五條　官有地ノ境界ハ之ヲ明確ニシ界標ノ設ナキモノハ成ルヘク不朽ノ物質ヲ以テ建設スヘシ

第一百十六條　官有財產ノ現在目錄ハ第二十八號書式ニ依リ十年每ニ其ノ年ノ三月三十一日現在ヲ調查シ翌年度四月三十日迄ニ本府ニ報告スヘシ

前項ノ報告則間ハ明治二十四年四月一日ヲ以テ起算ス

第一百十七條　每會計年度ニ於ケル官有財產ノ增減異動ハ左ノ四期ニ分テ第三十九號書式ニ依リ之ヲ調查シ翌月二十日迄ニ本府ニ報告スヘシ

一　第一期　自四月至六月
二　第二期　自七月至九月
三　第三期　自十月至十二月
四　第四期　自一月至三月

第一項ノ期間ニ增減異動ナキモノハ其ノ旨報告スヘシ

第一百十八條　前二條ノ報告書ニハ第一百十三條ニ依リ調製シタル土地建物及船舶ノ圖面ヲ添附スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

許可 8221 号 大正5年

書式第一號甲　記載例　租税額ハ前三年度ノ平均額ヲ掲ケシム

明治　年度歳入概算書

科目	何年度實收	何年度實收	何年度實收	本年度概算額
（經常）（臨時）部				
（款）				
（項）				
（目）				

右送達候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第一號乙　記載例　前年度ニ繰入ルヘキ額ハ摘要欄ニ記載スヘシ

明治　年度經費概算書

科目	前年度繰越額	本年度歳入額	摘要
（經常）（臨時）部			
（款）			
（項）			
（目）			

右送達候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第一號丙

（△印ハ朱書）

明治　年度（經常）（臨時）部歳入各目流用請書

款	項	目	現額	增減所用額	金額	流用（流用金額合計）	事由
（經常）（臨時）部	（款）	（備品費）	△三〇〇〇〇	△三〇〇〇〇	△五〇〇〇	（通信運搬費）	（何）
		消耗品	△一〇〇〇〇	△一〇〇〇〇	△一〇〇〇	（同）	（同）
		（物品運搬費）	△五〇〇〇	△一〇〇〇	△六〇〇〇	（備品費）	
					△四〇〇〇	（消耗品）	

右及請候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第二號乙

明治　年度（經常）部歳算節減調書

款	項	目	節	事由

右及報告候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第二號　記載例　當式第二號甲記載例ニ準ス

明治　年度（經常）（臨時）部（何費）歳算各節流用報告書

款	項	目	節	流用金額	更正後款額	更正後項額	更正後目額	事由

右及報告候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第四號

明治　年度（何費）經費歳算增額調請書

科目	歳算額	仕拂濟額	差引殘額	今後所要額	要求增額
（經常）（臨時）部					
（款）					
（項）					
（目）					
（目）					
（節）					

事由

（一）

（二）

（三）

右及請候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第五號

明治　年度（何費）經費現計書

科目	歳算額	三月迄仕拂額	仕四拂月以後額	不要額	備考
（經常）（臨時）部					
（款）					
（項）					
（目）					
（目）					

右ノ通候也

年　月　日

官　氏　名　印

政務總監宛

書式第六號

（明治　年度調定原簿）

（用紙寸法適宜ノ事）

（△印ハ朱書）

常部臨時部ノ別	納期	額未	科目		金額	摘要	所納人住氏名
（第一回）（第二回）（第三回）（何）	（四月五日入）（十四日）（十四日）（何）	（徴収令書発行）（徴収令書発行）（徴収令書発行）（何）	（不動産）（不動産）（不動産）（何）	（下物件品）（下物件品）（下物件品）（何）	（〇〇〇）	（十不動産用品）（代物外）（何）	（何）（何）（何）
（第一回）（第二回）（第三回）（何）	（十四日）（十四日）（十四日）（何）	（徴収令書発行）（徴収令書発行）（徴収令書発行）（何）	（貢営業所得）（貢営業所得）（貢営業所得）（何）	（下地所得税）（下地所得税）（下地所得税）（何）	（〇〇〇）	（貢何年分所得税）（貢何年分所得税）（貢何年分所得税）（何）	（何）（何）（何）
（第一回）（第二回）（第三回）（何）	（四月五日）（十四日）（十四日）（何）	（徴収令書発行）（徴収令書発行）（徴収令書発行）（何）	（過怠金）（過怠金）（過怠金）（何）	（〇〇〇）	（〇〇〇）	（何年何月何日何税何年分過怠金）（何）	（何）（何）（何）

書式第七號

（明治　年度收入簿）

收入年月日	納入告知書番號	部別	收入額	拂込額	未拂拂込額	摘要
		經常部				
		臨時部				

備考　本簿ハ歳入徴收官吏ノ收入官吏ニ於テ徴シタル官吏ノ收入官吏ニ於テ徴シタルモノトス

書式第八號

歳入增減計算書

科目	歳算額	調定額	濟收額	收入	收不濟額	未收濟額	收入	事由
經常部								事各目ニ由リ詳記スヘシ
（款）何								
（項）何								
（目）何								
（款）同								
（項）同								
（目）何								
經常部計								
臨時部								
（款）何								
徴收令書ノ總部ニ								

書式第九號甲

明治　年度朝鮮總督府歳入　部　第　號

大藏省所管　明治　年　月分現金郵便為替送達簿

納名	歳入徴收官吏氏名	年月	金額ヘ歩送未濟額	事由
	明治	年　月	日	

第 8221 号　本文

書式第九號乙

入歳府督總鮮朝度年治明
分月年治明

由　第　號　書換仕拂額差ノ表照對計月庫金ト書告報收徵收徵　管所省大藏

事由	差額			名氏官收徵收徵歳入	名氏	屬官
	足不ノ表照對		過溢ノ方照對			
	圓	錢	厘			

明治　年　月　日

記載例
本表ハ徵收報告書ニ於ケル本月分ノ收入濟額ヘ現金拂込仕譯中前月迄拂込未濟額ヲ加ヘ翌月ヘ越高ヲ控除シタル金額ト庫金ト計月照對ノ表ノ差額ヲ掲上スヘシ

書式第十號

歳入「誤過」納下戻請求書

明治　年度（經常部）
款　項　目　金額　事由　納人住所氏名

（官業及官有財産收入）（官有物貸下料）（建物貸下料）（一〇〇〇〇）（何年何月分何貸下料徵收ノ處已ニ前月ニ於テ契約解除ニ付誤納）（何町某）

右誤過納下戻御取計相成度候也

年　月　日　歳入徵收官（官氏名印）

仕拂命令官宛

書式第十一號（用紙美濃紙）

下檢査書

（何）證收入官吏「官氏名」ノ證明ニ係ル明治（何年度收入計算書及附屬證憑書ノ下檢査ヲ遂ケ左ノ事項ヲ證明ス（左ノ事項ヲ除ク外正確ナルコトヲ保證ス）

一收入計算書ト現金出納簿ト符合及殘額現存

一事實ニ適合ス（事實ニ適合セスト認ムル事項左ノ如シ）

（一）（何々）

（二）（何々）

年　月　日

會計檢査院長宛

何廳歳入徵收官（官氏名印）

書式第十二號

（部時臨）（部常經）書告報額濟令命拂仕　分月年何治明

科目 款	科目 項	現算豫額	仕拂命令濟額 本月分	仕拂命令濟額 前月迄累計	仕拂命令濟額 合計	殘算豫額	備考
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	

明治何年何月何日

仕拂命令官（官氏名印）

朝鮮總督宛

備考
用紙ハ厚質礬沙引美濃紙若クハ之ニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一尺ニ付何ヶ所ト定メ調製スルモノトス
但シ誤謬ヲ明ケ調製スルモノトス

書式第十三號

明治何年度經費決算報告書

科目　豫算額　豫算決定後增加額　前年度繰越額　豫備金支出額　流用增減額（流用ノ場合ニ限リ朱書）　現算額　仕拂命令濟額　翌年度繰越額　不用額　備考（目ニ於テ增減流用ノ有無ヲ明ニスルヲ要ス）

（何何）款
（何何）項
（何何）目

右ノ通ニ候也

年　月　日

朝鮮總督宛

仕拂命令官（官氏名印）

書式第十四號

支出簿

（節）（目）（項）　經常（部時臨）

日	月	年	摘要	仕拂命令番號	豫算額	仕拂命令濟額 本拂及繰越	仕拂命令濟額 前渡金	仕拂ト額濟令命ノ差
					圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
			（豫算令達高）		(1,000 00 0)			
			△（豫算減額高）		△(500 00 0)			
			（備品費）	(1)		(100 00 0)	(0)	
			△（定額戻入）			△(50 00 0)		
			△（何ヘ科目更正減）			△(10 00 0)		
			△（命令取消）			△(20 00 0)		(480 00 0)
			（何月分合計）		(500 00 0)	(100 00 0)	(0)	
			△（定額戻入）			△(50 00 0)	(0)	
			△（科目更正減）			△(10 00 0)		
			△（命令取消）			△(20 00 0)	(0)	
			（改何月分合計）		(500 00 0)	(20 00 0)	(0)	

（△印ハ朱書）

備考
一　本簿ハ「項」帳簿ノ記帳例ヲ示ス
二　節帳簿ハ摘要ヲ詳記スヘシ
三　目限リノ費目ハ節ニ準シ摘要ヲ詳記スヘシ

書式第十五號

簿理整渡繰概

日	月	年	摘要	仕拂命令番號	算日精月	概算支出額	繰算額	返納額	殘
						圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘

記載例　本簿ハ概算渡ヲ受ケタル出納官吏ノ座口ニ別月ノ渡繰概ハ簿本ヘストノモスルヲ要ス

許可 8221 号 大正

書式第十六號

前渡金整理簿（項）

年月日	摘要	豫算額	前渡額	精算額	返納額	豫算殘額（前渡ニ對スル豫算殘額 / 精算ニ對スル豫算殘額）	未精算額
	前渡金受領者	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘 / 圓 銭 厘	圓 銭 厘

備考

本簿ハ前渡官吏毎ニ口座ヲ設クルモノトス

書式第十七號

前渡金整理簿（目）

年月日	摘要	豫算額	前渡額	精算額	返納額	豫算殘額（前渡ニ對スル豫算殘額 / 精算ニ對スル豫算殘額）	未精算額
	前渡金受領者	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘 / 圓 銭 厘	圓 銭 厘

備考

本簿ハ前渡官吏毎ニ口座ヲ設クルモノトス

書式第十八號

豫算推算簿（目別）

年月日	番號	摘要	豫算額	配賦豫算額	直接仕拂額	豫算殘額	仕拂命令發行月日	備考

備考

一　仕拂命令官所管廳ヘ配賦セサル豫算ノ仕拂ヲ約束スルトキハ直接仕拂額ニ登記シ推算スルモノトス

二　所管廳ニ配賦シタルトキハ配賦豫算額ニ登記スルモノトス

三　二ノ場合ニ於テハ更ニ所管各廳毎ニ十九號書式ノ帳簿ヲ設クルモノトス

四　第一ノ仕拂ヲ執行シタルトキハ仕拂命令發行月日ヲ記入スルモノトス

五　所管各廳ノ請求ニ依リ配賦豫算中ヨリ仕拂ヲ執行シタルトキハ三ノ帳簿仕拂額ニ登記スルモノトス

六　各所管廳ニ豫算ヲ配賦シタルトキハ各廳毎ニ十九號書式ニ準シタル帳簿ヲ設ケ豫算ノ推算ヲ爲サシムルモノトス

書式第十九號　記述例　配付豫算ヲ更正減額シタルトキハ配賦豫算額ニ朱書スルモノトス

配賦豫算推算簿（目別）

年月日	摘要	配賦豫算額	仕拂濟額	豫算殘額

書式第二十號

明治　年度　廳經費現金前渡請求計算書

科目	豫算額	現金前渡受領濟額	仕拂濟額	差引現金殘額	今回前渡請求額
（經常）（臨時）部					
（款）					
（項）					
（目）					
（節）					

事由

（一）

（二）

（三）

右請求候也

年月日

仕拂命令官吏

現金前渡ヲ受クル官吏（官氏名印）

本文 官報 1278 8671 号外

第8221号 本文

書式第二十一號

（經費內譯簿）

年月日	摘要	豫算額	前金受渡額	仕拂濟額	返納額	豫算額ト前渡受額トノ差	前渡受額ト仕拂額トノ差	備考

書式第二十二號

購入及仕拂伺議

部常經出歳度年 明治			長官
款			
項			
目			
發議	年 月 日		出納官吏
內譯簿登記濟	年 月 日		
仕拂年月日	年 月 日		
現金出納簿登記濟	年 月 日		
物品出納簿登記濟	年 月 日		
引出切符第 號			

一金

內譯

節	品名	數量	單價 圓	代價 圓	備考

證第 號

節	品名	數量	單價 圓	代價 圓	備考

物品供給ニ關シテハ裏面ノ事項ヲ承諾ス

住所

供給者

電話 番

本書ノ金額領收ス

明治 年 月 日

供給者承諾事項

一 明治四十 年 月 日迄ニ會計係ニ納付スルコト

但納品ニシテ檢查不合格ノ物品アルトキハ御指定ノ期間內ニ之レカ引換ヲナスコト

二 物品期日內ニ完納スル能ハサルトキハ內譯書ニ基キ未納物品ニ對スル代價ヲ算出シ遲延日數一日ニ付遲滯償金トシテ其代價ノ何分ノ何ニ相當スル金額ヲ納付スルコト

但納付金ハ仕拂金ト相殺セラルルモ差支ナキコト

三 前項ノ遲延日數何日ニ及フモ尚完納スル能ハサルトキハ契約ヲ解除スルコトアルヘシ此場合ニ於テ何等ノ異議ヲ申立テス又ハ何等ノ請求ヲ爲ササルコト

書式第二十三號

證第 號	部常經出歳度年 明治	長官
	款	出納官吏
	項	內譯簿登記濟 年 月 日
	目	出納簿登記濟 年 月 日
	引出切符第 號	

旅費仕拂伺議

概算渡ニ對スル精算		
請求金額		圓
概算額		圓
精算額		圓

明治四十 年 月 日 住所

請求 明治四十 年 月 日 請求者 官氏名印

領收 明治四十 年 月 日 領收者 官氏名印

出張地名

用務

官等 俸給

年月日	四十 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
出發地							
經過地							
到着地							
里數 汽車							
里數 水路							
里數 陸路							
日數							
宿泊數							
備考							

年月日	四十 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	計	金額
出發地													合計 圓
經過地													
到着地												內國 朝鮮	內國 朝鮮
里數 汽車													
里數 水路													
里數 陸路													
日數													
宿泊數													
備考												支度料 移轉料	赴任手當

書式第二十四號

仕拂伺議

部常經出歳度年 明治		長官
款		
項		
目		
節		
發議	年 月 日	主任官吏
內譯簿登記濟	年 月 日	
仕拂年月日	年 月 日	
現金出納簿登記濟	年 月 日	
引出切符第 號		

本書ノ金額領收ス

明治 年 月 日

一金

內譯

金

金

金

摘要

證第 號

仕譯

金額	事由	氏名

書式第二十五號

保證書

「何」廳現金前渡ヲ受クル官吏

（官 氏 名）

一明治「何」年度「何」年「何」月仕拂計算書 「何」册

一同上證憑書 「何」册

右調査スルニ計算書ト現金出納簿ト符合シ其ノ殘額ハ現存シ且仕拂ハ事實ニ適合セルコトヲ保證ス

年 月 日

（官 氏 名 印）

書式第二十六號

（書細明拂受金渡前廳　度年　治明）

科目	備考	額算除			前渡額	仕拂額	殘額			額算除			前渡額	仕拂額	殘額		
		現額	減用增減	增減額			現額	增減	前年度繰越	現額	減用增減	增減額			現額	增減	前年度繰越
（款）	記載例 一、殘算額、前渡額及殘額ハ節ノ金額ヲ省略スルコトヲ得																
（項）																	
（目）																	
（節）																	

書式第二十七號

明治何年度「何」年「何」月仕拂計算書證憑書背規事項報告

科目	金額	背規事項	摘要	處分見込
（款）（項）（目）	圓（二〇〇）	（過渡）	（證第何號何某何地出張旅費日當何日分何圓支給スヘキヲ何圓支拂タルニ因ル）	（翌月回收スヘシ）
	（一〇〇〇）	（科目違）	（證第何號何某何地出張旅費何圓ハ巡視旅行ナルヲ以テ旅費ヨリ支拂ヲ相當トス）	（翌月ニ於テ更正スヘシ）

右ノ通ニ候也

年　月　日

「何」廳
現金前渡ヲ受クル官吏（官氏名印）

會計檢查院長宛

書式第二十八號

明治「何年度」「何」年「何」月仕拂計算書證憑書背規事項處分濟報告

科目	金額	背規事項	摘要	處分
（款）（項）（目）	圓	（過渡）	（何月證第何號何某何地出張旅費日當過給ノ分）	（本月回收ヲ了ス）
		（科目違）	（何月證第何號何某何地出張旅費何圓ハ巡視旅行ナルヲ以テ旅費ヨリ支拂ヲ要スル分）	（本月科目更正ヲ了ス）

右ノ通ニ候也

年　月　日

「何」廳
現金前渡ヲ受クル主任官吏（官氏名印）

會計檢查院長宛

書式第二十九號

過誤拂（科目更正）報告書

明治　年度歲出經常部（臨時部）
（款）（項）（目）

一金　圓

但明治　年　月　日何某ニ仕拂ノ分

理由

（何程）仕拂フヘキノ處（何程）仕拂ヒタルニ因リ過渡金

前記ノ通リ何年度歲入ニ納付セリ（又ハ何何）

右及報告候也

年　月　日

廳現金前渡ヲ受クル官吏
（官氏名印）

會計檢查院長宛

書式第三十號

入札書

（何何新築（修繕）工事

一金

右金額ヲ以テ仕樣書及繪圖面ノ通請負可仕候也

年　月　日

（住所職業）
（氏名印）

契約擔任者宛

書式第三十一號

（簿譯內納出金現歲外出歲入歲）

（入札保證金）（契約保證金）（拾得金）（金置領）

年月日	摘要	受入	拂出	殘額	殘高內譯 金庫保管	殘高內譯 現金
		證	證			
（四十年）		(50,000)		(50,000)		(50,000)
(1)	（何某何何入札保證金）					
(2)	（何某何何入札保證金）	(100,000)		(150,000)		(150,000)
(5)	（何某拂渡ニ付キ契約保證金ヲ收ム）		(50,000)	(100,000)		(100,000)
(6)	（何某拂渡）		(100,000)			(0)

書式第三十二號

（保管物受拂簿）

年月日	摘要	受入	拂出	現在	番號	願末	權利者氏名
（四十年四月一日）	（何何契約保證金）	（五〇〇〇）		（五〇〇〇）（一）	（一）拂戻	（五月一日（何某）	
（二日）	（何何保證公債證書）	（一〇〇〇〇）		（一五〇〇〇）（二）		（何某）	
（五月一日）	（何何保證金拂戻）		（五〇〇〇）	（一〇〇〇〇）（一）		（何某）	

書式第三十三號ノ甲

簿納出品備

年月日	品目 別種	單位ノ呼稱	受入 單價	受入 數量 越	受入 數量 買入	受入 數量 保管轉換	受入 數量 他	受入 數量 計	拂出 數量 失錄	拂出 數量 實知	拂出 數量 保管轉換	拂出 數量 他	拂出 數量 計	現在 供用	現在 庫	現在 計	及入 受拂	備考
																		備考 單價ハ受入ノ時ノミ記載スルモノトス

許可 8221 号 官報 第八二二一號 明治四十三年十一月十五日（第三種郵便物認可）

書式第三十三號ノ乙

明治　　年度消耗品出納簿（素品）（動物）（器具機械）

品目

年月日	種別	單位ノ呼稱	單價	受入 數量 越	受入 數量 買入	受入 數量 保管轉換	受入 數量 其他	受入 計 數量	受入 計 價格	拂出 數量 消耗	拂出 數量 賣却	拂出 數量 保管轉換	拂出 數量 其他	拂出 計 數量	拂出 計 價格	現在 數量	現在 價格	受入及拂出先名	備考

備考　廳用消耗品及監獄ノ器具機械ハ受入ノ時單價ノミヲ記載シ器具機械現在ノ欄ハ甲號ノ通トス

書式第三十三號ノ丙

明治何年度製品出納簿

年月日	單位ノ呼稱	單價	受入 數量	受入 價格	拂出 賣却 數量	拂出 賣却 價格	拂出 何何 數量	拂出 何何 價格	拂出 計 數量	拂出 計 價格	現在 數量	現在 價格	備考

記載例　價格ハ素品代及間接費用ヲ含ミタル卽原價ヲ登記スルモノトス
　前年度ヨリ越アリタルトキ又ハ賣却價格ノ原價ニ對スル差增減ハ各相當欄ヲ設ケ登記スヘシ

書式第三十四號

物品受拂簿（備品）（消耗品）

月	日	受 數量	受 單價	拂	殘	受領者印	摘要

書式第三十五號（用紙美濃罫紙）

（共用物品內譯簿）

年月日	物品番號	品名	受入數量	返納數量	亡失毀損數量	現在數量	摘要

書式第三十六號ノ一

（官有財產臺帳）

（土地ノ部）

一、所在地　（京城倭城臺）
一、使用目的　（廳舍敷地）

年月日	地目	事由	番號	增 數量	增 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格

記載例（一筆每ニ一用紙ヲ用フ）

書式第三十六號ノ二

（土地附屬物ノ部）

（廳舍敷地附屬物）

名稱	年月日	事由	地圖番號	增 數量	增 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格
（樹木）									
（庭石）									

記載例　各名稱每ニ一用紙ヲ用フ　附屬物記載例以下同シ

書式第三十六號ノ三

（營造物）（家屋ニ兼用ス）

一、所在地　（京城倭城臺）
一、使用目的　（何何廳舍）（何何監獄）

年月日	構造ノ種類	事由	地圖番號	保存期限	增 數量（平家坪 二階坪）	增 價格	減 數量（平家坪 二階坪）	減 價格	現在 數量（平家坪 二階坪）	現在 價格
					坪	圓	坪	圓	坪	圓

記載例　一、廳舍及家屋ハ一棟每ニ其他ハ一厩每ニ一用紙ヲ用フヘシ

書式第三十六號ノ四

（營造物附屬物）（家屋附屬物ニ兼用ス）

（廳舍附屬物）

名稱	年月日	種類構造	番號	保存期限	事由	增 數量	增 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格

第8221号 本文

書式第三十六號ノ五

（營造物）（電信、電話線路）

一 地域（何地何地間）

一 種目（陸上又ハ水底電信線路）（陸上又ハ地下電話線路）

建設者及其年月日	買讓受先及其年月日或ハ登記年月日	構造	番號	事由	増 數量	増 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格
		（一三心入條）								
		（架空裸線）			（延長ノ〇〃三〇〃）（亙長ノ〇五〃〇〃）					
		（架空ケーブル線）			（亙長……）（延長……）（心線延長……）					
		（ケーブル線）								

記載例

一 電信及電話線路ヲ區別シ一線路毎ニ一用紙ヲ用フヘシ

二 電信電話線ノ數量ハ里ハ（ノ）町ハ（ク）間ハ（〻）ノ符號ヲ付スヘシ但間位ニ止ム

三 水底電信線ノ數量ハ海里ニハ（ノ）ノ符號ヲ付スヘシ但海里以下三位ニ止ム

四 陸上電信線陸上電話線中架空線ノ數量ハ亙長及延長ノ二種ニ區別記載スヘシ

五 水底電信線ノ數量ハ線條延長及心線延長ノ二種ニ區別記載スヘシ

六 陸上電話線中架空ケーブル線及地下電話線ケーブル線ノ數量ハ亙長、延長、心線延長ノ三種ニ區別記載スヘシ

七 電話線ハ市内ト市外トニ區別シ市外線路ニシテ市内線路ニ添加シアルモノハ之ヲ市内線路ニ合記シ事由欄ヘ内何程市外線路ノ分添加ト記載スヘシ

書式第三十六號ノ六

（營造物附屬物）

（何地何地間陸上又ハ水底電信線路或ハ陸上又ハ地下電話線路附屬物）

種目	年月日	種類構造	番號	線路番號	保存期限	事由	増 數量	増 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格
（何地陸上線路）												
（何地水底線室）												
（何地浮標）												

書式第三十六號ノ七

（營造物）

一 所在地

一 名稱及等級（燈臺、燈竿）（何等）

建設登記年月日	燈質構造	事由	番號	保存期限	増 丈量	増 價格	減 丈量	減 價格	現在 丈量	現在 價格

記載例

一 一燈一竿每ニ一用紙ヲ用フヘシ

二 丈量ハ高及坪數ヲ記載スヘシ

書式第三十六號ノ八

（營造物附屬物）

（何燈臺燈竿附屬物）

名稱	年月日	種類構造	番號	（燈臺燈竿）番號	保存期限	事由	増 數量	増 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格

書式第三十六號ノ九

船舶

一、船名

一、種類（汽船）（帆船）

一、船籍港（横濱）

一、公稱馬力

一、丈量（[illegible]）

一、總噸數

一、登簿噸數

一、使用目的

年月日	事由	増減 増	増減 減	價格	現在價格

書式第三十六號ノ十

（船舶附屬物）

（何丸附屬物）

名稱	年月日	種類構造	事由	増 數量	増 價格	減 數量	減 價格	現在 數量	現在 價格

記載例第三十七號

地圖調製標準

一 地圖ハ其ノ土地ノ廣狹形狀及方位ヲ測度シ眞正ノ疆界ヲ明ニシ精緻ニ調製スヘシ

二 地圖ノ縮尺ハ面積ノ廣狹ニ拘ラス總テ三百分ノ一即チ六尺ニ付二分ノ割合トス

三 地圖ハ上部ヲ北トスヘシ方位ヲ斜ニスヘカラス

四 地圖ニハ現在ノ建物門扉牆壁庭園樹木溝渠水道橋梁等凡ソ左ニ附記スル所ノ記號ニ由リテ登載シ其ノ位置形狀ヲ明示スヘシ

一 木造建物　墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ樺色ヲ以テ色取リタルモノ

一 木製西洋模造建物　木製建物ノ符號ノ周邊ニ更ニ薄紅色ヲ加ヘタルモノ

一 煉瓦造建物　墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ薄紅色ヲ以テ色取リタルモノ

一 土藏造建物　墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ薄墨色ヲ以テ色取リタルモノ

一 石造建物　墨ニテ其ノ周邊ヲ二重ニ畫キ薄墨色ヲ以テ色取リタルモノ

一 鐵製建物　墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ薄藍色ヲ以テ色取リタルモノ

一 建物層階ノ區別　二階ハ墨ニテ數條ノ平行斜線三階ハ墨ニテ數條ノ縱横平行斜線

一 木製門　樺色

一 煉瓦門　薄紅色

一 石製門　薄墨色

一 鐵製門　薄藍色

一 生垣　綠色ノ線

一 竹垣　綠色ノ斷絶線

一 木柵　樺色ノ斷絶線

一 鐵柵　薄藍色ノ斷絶線

一 板塀　樺色ノ線

一 土塀　薄墨色ノ線

一 石塀　薄墨色ノ平行線

一 煉瓦塀　薄紅色ノ線

一 溝又ハ下水（常ニ水ノ流ルヽモノ）　墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ藍色ヲ以テ色取リタルモノ

一 溝又ハ下水（常ニ水ナキモノ）　墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ藍色ノ線ヲ中間ニ加ヘタルモノ

一 溝又ハ下水（常ニ水アリテ石ヲ以テ蓋ヲ為シタルモノ）　墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ樺色ヲ以テ色取リ更ニ中間ニ藍色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ但シ常ニ水ナキモノハ中間ノ虛線ヲ除ク

一 溝又ハ下水（常ニ水アリテ石ヲ以テ蓋ヲ為シタルモノ）　墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ薄墨色ヲ以テ色取リ更ニ中間ニ藍色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ但シ常ニ水ナキモノハ前例但書ニ倣フ

一 木製埋下水　樺色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 煉瓦埋下水　薄紅色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 石製埋下水　薄墨色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 土管埋下水　茶色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 木製水道管　樺色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ藍色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 鐵製水道管　薄藍色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ藍色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 井（稲側）　樺色ニテ其ノ周邊ヲ畫キ藍色ヲ以テ色取リタルモノ

一 井（石又ハ漆喰側）　薄墨色ニテ其ノ周邊ヲ畫キ藍色ヲ以テ色取リタルモノ

一 井（水道又ハ吹井）　以上二種ノ中央ニ薄墨色ノ小圈ヲ畫キタルモノ

一 芝生　薄綠色（極ナシ）

一 樹木　大小ニ從テ其ノ形ヲ畫キ綠色ヲ加ヘテ陰ヲ附ケタルモノ

一 池　墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ薄藍色ヲ以テ色取リタルモノ

一 堤　墨ニテ其ノ底邊及頂邊ヲ畫キ陰ヲ附ケ薄墨色ヲ以テ色取リタルモノ

一 庭石其ノ他石垣敷石類　墨ニテ其ノ外邊ヲ畫キ薄墨色ヲ以テ色取リタルモノ

一 電燈線　黄色ヲ以テ支柱ト電燈線トヲ畫ルモノ但シ支柱ハ其位置ニ從フ

一 電燈　徑五厘以下ノ黄色「火」字ノ隸書

一 瓦斯管　朱色ノ虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ朱色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

一 瓦斯燈　徑五厘以下ノ朱色「火」字ノ隸書

一 露燈　徑五厘以下ノ薄紅色「火」字ノ隸書

一 電線支柱　墨ヲ以テ支柱ト電線トヲ畫ルモノ但シ支柱ハ其ノ位置ニ從フ

一 レール　軌距ノ廣狹ニ應シ薄藍色ノ平行線

一 煉瓦製煙突　大小形狀ニ從ヒ墨ニテ周邊ヲ畫キ其ノ周邊ニ薄紅色ヲ加ヘ内部ヲ墨色ニ色取リタルモノ

一 木橋　樺色

一 石橋　薄墨色

一 鐵橋　薄藍色

一 土橋　薄墨色ヲ以テ其ノ外邊ヲ色取リタルモノ

一 木製地上疆界標　徑五厘以下ノ樺色斜方十字形

一 石製地上疆界標　徑五厘以下ノ薄墨色斜方十字形

一 木製地中疆界標　徑五厘以下ノ樺色斜方虛線十字形

一 石製地中疆界標　徑五厘以下ノ薄墨色斜方虛線十字形

一 官用地疆界線　朱線

一 流水ノ方向　墨ニテ箭形ヲ畫キ其ノ方向ヲ示スヘシ

五 前條ニ記載ナキモノト雖若シ緊要ナルモノアルトキハ適宜記號ヲ設ケ之ヲ圖上ニ表示シ其ノ側ニ其ノ名ヲ附記スヘシ

六 地圖ニハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

イ 所在地及地番

ロ 使用名（何何敷地ト記スヘシ）

ハ 實測面積

ニ 官用地周圍ノ間尺

ホ 測量ノ年月日

ヘ 測量ノ方法器械ノ種類

ト 測量ニ使用セシ尺ノ單位及之ヲ間數ニ改算セル歩率

チ 測量者及製圖者ノ官氏名（官吏ニアラサル者ハ其ノ族籍氏名）

第8221号 本文

七　實測面積ハ總テ坪數ヲ以テ計算シ才以下ノ端數ハ算入ヲ要セス
八　地圖ニハ測量ノ當時其ノ地ニ於ケル磁針ノ偏遠ヲ指示スヘシ
九　地圖ニハ其ノ區界ヲ明確ナラシムル爲區界標ノ位置ヲ表示シ其ノ近傍ニ於テ天然若ハ人造ノ固定物アルモノハ（硝ノ部分）該區界標ト固定物トノ距離方角ヲ記載シ他日ノ參證ニ供スヘシ
十　地圖ニハ周邊ノ地形即チ山嶽丘陵森林原野海河湖沼池澤溝渠堤塘道路市街村落田畑橋梁其ノ他神社佛閣等ノ如キ著シキモノハ其ノ概略ヲ模寫シ名稱地名ヲ掲ケヘシ
十一　圖上ノ建物ニハ總テ其ノ番號ヲ附シ第二號標準ニ依リ調製シタル建物明細圖及官有財產臺帳ニ對照セシムヘシ
十二　地圖數葉アルモノハ圖面右側ノ上部ニ順次番號（地圖第何號）ヲ朱記スヘシ
十三　地圖ニ記載スル文字ハ總テ楷書ヲ用ヒ北ヨリ南ニ向ケ記載スヘシ
　但シ地面周圍ノ間尺ノ如キ實際一定ノ方向ニ記載シ難キモノハ此ノ限ニ在ラス
十四　測量原圖又ハ測量原圖ハ他日ノ參考ニ供スル爲地圖ニ附屬セシムヘシ
十五　製圖用紙ハ總テ礬水引美濃紙ヲ用フヘシ

建物圖調製標準

一　建物ノ製圖ハ總テ二百分ノ一ノ部チ六尺ニ付三分ノ縮尺トス
二　層階ノ部分ハ掛紙（貼付ノ際所ニ止ム）ニ畫クヘシ
三　建物ハ總テ其ノ周圍ノ間尺ヲ記入スヘシ
四　建物ハ各間室毎ニ其ノ坪數ヲ記入スヘシ
五　建物ハ總テ其ノ番號ヲ記入シ地圖建物ノ番號ニ對照セシムヘシ
　前項建物番號ノ外官舍又ハ倉庫ノ如キ別ニ番號アルモノハ各其ノ番號ヲ朱記スヘシ
六　建物圖ハ建物番號ノ順次ニ從ヒ地圖一葉毎ニ之ヲ組製シ其ノ右側ノ上部ニ（地圖第何號附屬）ト朱記スヘシ
七　圖上ニ記載スル文字ハ總テ楷書ヲ用フヘシ
八　製圖用紙ハ總テ礬水引美濃紙ヲ用フヘシ
九　機造其ノ他ノ區別ハ凡ソ左ニ附記スル所ノ記號ニ從ヒ詳細其ノ形狀ヲ寫スヘシ若記號ナキモノハ適宜記號ヲ設ケ圖上ニ其ノ凡例ヲ示スヘシ

名稱	記號	名稱	記號
上ケ下ケ窓	板張	ストーブ	凡
引違ヒ窓	筋違板張	石竈	口
兩開キ窓	石敷	煉瓦竈	
引込ミ窓	四盤石敷	階子段	
室內間仕切手摺	煉瓦敷	同リ階子段	

書式第三十八號ノ一（用紙美濃十三行罫紙）

明治　年三月三十一日現在土地及附屬物

所在地番號	地圖	土地	附屬物	數量	價格	編入年月	記事
（一）（何何敷地）				坪（一、〇〇〇、〇〇〇）	×（何年何月）（一、〇〇〇、〇〇〇）	（何年何月）在來官有地編入	
			（樹木）	本			
（二）（何何敷地）				坪（一〇〇、〇〇〇）	（二、八〇〇、〇〇〇）（何年何月）（價格ハ土地ノ價格ニ包含ス）	（民有地買上）	
			（樹木）	本（三〇）	（四〇、〇〇〇）		
			（庭石）	個（一〇）	（一〇、〇〇〇）		
（合計）				（一、一一〇、〇〇〇）	（二、四五〇、〇〇〇）		

右及報告候也

年　月　日　朝鮮總督府總務部會計局長宛　（官氏名印）

備考

一　土地ハ一敷地毎ニ之ヲ掲ケ段別ハ總テ坪數ニ改算スヘシ
二　附屬物ノ欄内ニハ樹木及庭石ヲ掲クヘシ但庭石ハ其重ナルモノヲ掲ケ雜石ノ類ハ記載ヲ要セス
三　附屬物ノ價格土地ノ價格ニ包含スルモノハ記事ノ欄内ニ其事由ヲ摘記スヘシ
四　數量ハ其物件ノ種類ニ依リ本表ニ例示スル如ク其右傍ニ坪、本、個等ノ文字ヲ附記スヘシ但坪數ハ勾位ニ止ム
五　評價價格ハ本表ニ例示スル如ク其價格ノ右傍ニメノ記號ヲ付スヘシ以下諸表總テ之ニ倣フ

書式第三十八號ノ二（用紙美濃十三行罫紙）

明治　年三月三十一日現在家屋及附屬物

所在地	家屋番號	附屬物	建物構造種類番號	數量	價格	建築年月	記事
（何何官舍）		（何造）（一）	（一一〇、〇〇〇坪）	（一、三〇〇、〇〇〇）	（何年何月）		
（何番官舍）		（何造）（二）（二階一五、〇〇〇、〇〇〇）		（二、三〇〇、〇〇〇）			
		（何何倉庫）（何造）（三）		（四、〇〇〇、〇〇〇）			
		（何何機械）		（一、三〇〇、〇〇〇）			
		（何何）		（一、三〇〇、〇〇〇）			
		（何何倉庫）（何造）（四）	（二四、〇〇〇坪）	（一、六〇〇、〇〇〇）			
		（物置）（何造）（四）	（二四、〇〇〇坪）	（二、九〇〇、〇〇〇）			
		（何造門）	（二間）	（四二、〇〇〇）			
		（何塀）	（二四、〇〇〇間）	（一四〇、〇〇〇）			
		（何櫓）	（四、〇〇〇坪）	（四〇、〇〇〇）			
		（電話器）	（一台）	（四〇、〇〇〇）			
		（電燈）（瓦斯燈）	（一所）	（四〇、〇〇〇）			
（合計）				（四、六七七、〇〇〇）			

右及報告候也

年　月　日　朝鮮總督府總務部會計局長宛　（官氏名印）

備考

一　家屋ノ欄内ニハ官舍及住家ノ類ヲ掲クヘシ
二　附屬物ノ種類及其他ノ事項ハ第三十八號ノ二報告例備考第二項乃至第六項ノ例ニ依リ調査スヘシ
三　家及附屬物ノ中他ヘ貸渡ニ係ルモノハ第三十八號ノ二報告例備考第七項ノ例ニ依ル但官舍貸渡規則ニ依リ貸付レタル官舍ハ此限リニ在ラス
四　附屬物ノ價格ハ價格ニ包含スルモノハ記事ノ欄内ニ其事由ヲ摘記スヘシ
五　數量ハ其物件ノ種類ニ依リ本表ニ例示スル如ク其右傍ニ坪、筒間等ノ文字ヲ附記スヘシ但坪數ハ才位ニ間數ハ尺位ニ止ム
六　建築年月ノ不明ナルモノハ推定ノ年月ヲ朱記スヘシ
七　營造物及附屬物ノ中他ヘ貸渡ニ係ルモノハ其名稱ヲ朱記シ記事欄内ニ其事由ヲ摘記スヘシ

見本
8221

書式第三十八號ノ四

明治　年三月三十一日現在營造物及附屬物（電信電話線路）

地域	營造物	附屬物	種類	番號	數量	價格	年建	記事
（何何地間）	（何何線上設備）	（電線）	（線路）		五百延長			
		（絶縁室試驗）	（何何）					
（何何間）	（電線線上設備）		（ルプ線ノ）					
		（何何）	（何何）					

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　第三十六號ノ五記載例ニ準ジテ記載スベシ

書式第三十八號ノ五

明治　年三月三十一日現在營造物及附屬物（燈臺燈竿）

所在地	營造物	附屬物	構造	數量	價格	年建	記事
	（何燈臺等）		（鐵筋混凝土造）	（一）			
	（燈竿）			（一）			
		（何何）		（一）			

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　營造物ノ構内ニ燈臺、燈竿等ニ附屬セサル及一部ノ爲ササル雜種物ノ類ヲ掲ケ本表所用ノ名稱ヲ示スベシ

二　附屬物ノ構内ニ燈標、燈竿等ニ附屬スル電線、燈籠、電燈、瓦斯燈、避雷針等ノ類ヲ掲クベシ

三　營造物ノ構内ニ燈標、燈竿等ニ之ヲ掲ケ又ハ設置スル電線、電燈、瓦斯燈、避雷針等ノ類ヲ掲クベシ

四　附屬物ノ構内ニ燈標、燈竿等ニ包含スルモノハ記載ヲ要セス

五　營造物中ノ建物ニ標燈、燈竿等ヲ掲ケ又ハ設置スル場合ニ於テハ其ノ由ヲ摘記スベシ

六　建屋其ノ他ノ營造物ノ價格ニ包含スルモノハ記載ヲ要セス

七　營造物等ニ係ル不明ナル點アルトキハ推定ヲ以テ之ニ代ヘ其ノ由ヲ摘記スベシ

書式第三十八號ノ六（用紙寫寸十三行罫線）

明治　年三月三十一日現在船舶及附屬物

所在地	船舶 種類	船舶 名稱	船舶 噸數	附屬物	數量	價格	異動又ハ月日	記事
	（小蒸汽船）	（何何丸）	（一）噸		（一）隻	三、〇〇〇、〇〇〇圓	（何何年月日）	（又ハ何ヘ何ニ轉用ノ爲メ新造）
				（何何）	（二）隻	〇〇〇、〇〇〇		
				（何何）	（一）隻	〇〇〇、〇〇〇		
				（何何）	（一）隻	〇〇〇、〇〇〇		
（合計）						三、〇〇〇、〇〇〇圓		

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　附屬物ノ本表ニ掲ケ又ハ小蒸汽船及小艇ニ附屬スル諸種ノ雜品ハ之ヲ掲ケサルモノトス但シ特ニ必要ト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

二　附屬物ノ價格ニ關シテハ小蒸汽船及小艇ニ附屬スル諸種ノ雜品ハ之ヲ掲ケサルモノトス但シ特ニ必要ト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

三　附屬物ノ價格ニ關シテハ小蒸汽船及小艇ニ附屬スル諸種ノ雜品ハ之ヲ掲ケサルモノトス但シ特ニ必要ト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

四　船舶ノ噸數ハ本表ニ例示スル如ク小蒸汽船及小艇ニ附屬スル諸種ノ雜品ハ之ヲ掲ケサルモノトス但シ特ニ必要ト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

書式第三十九號ノ一（用紙寫寸十三行罫線）

明治　年度（第何期）土地及附屬物增減異動報告

所在地	番地	地目	地積	附屬物	數量	價格	年增減月日	記事
	（三）	（何何地）	一、〇〇〇、〇〇〇坪		一、〇〇〇、〇〇〇圓	（何何年月日）	（何何ヨリ買上ニ付編入）	
		（同）	一〇、〇〇〇	（畜木）	〇〇〇圓	（同）	（入札ニ依リ地上ノ立木ヲ買上ケタルニ付）	
（一）	（一）	（何何地）	一、〇〇〇、〇〇〇坪		一、〇〇〇、〇〇〇圓	（何何年月日）	（一ノ内ニ不適ノ爲メ又ハ買上ニ付地目變更ノ爲メ）	
（二）		（同）		（畜木）	〇〇〇圓	（同）	（一ノ内ヨリ分割ノ爲メ又ハ地目變更ノ爲メ）	
（三）		（同）		（畜木）	〇〇〇圓	（同）	（一ノ内ヨリ分割ノ爲メ又ハ地目變更ノ爲メ）	
	（三）	（何何地）						
				（畜木）	〇〇〇圓	（何何年月日）	（一ヨリ買上又ハ何ヘ何ニ轉用ノ爲メ）	
（合計）			一、〇〇〇、〇〇〇坪		一、〇〇〇、〇〇〇圓			

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　甲表ニ例示スル如ク營造物及附屬物ノ增減異動ニ關シ其ノ他ノ事項ハ總テ第三十八號ノ二及第三十九號ノ二ニ準ジ報告スベシ

二　土地ノ移動其他數等ハ總テ第三十八號ノ二ニ準ジ調査スベシ

三　土地ノ價格ニ關シテハ總テ第三十八號ノ二ニ準ジ調査スベシ

書式第三十九號ノ二（用紙寫寸十三行罫線）

明治　年度（第何期）家屋及附屬物增減異動報告

所在地	家屋	附屬物	構造	數量	價格	年增減月日	記事
	（何何舍）		（何何造）	（八）棟	〇〇〇圓	（何何年月日）	（何何ヨリ新築又ハ何ヘ何ニ付新築）
		（何何）		（一）所	（同）	（同）	（同）
〃	（何何舍）		（何何造）	（四）棟	〇〇〇圓	（何何年月日）	（何何ヨリ分割）
	（物置）		（何何造）	（五）	〇〇〇圓	（何何年月日）	（何何ヨリ分割ノ爲メ）
	（所長宿）		（何何造）	（七）	〇〇〇圓	（何何年月日）	（何何ヨリ分割ノ爲メ）
	（何何）			（二）所	〇〇〇圓	（何何年月日）	（何何ヨリ移轉又ハ何ヘ何ニ付何何地ヨリ移轉）
（合計）					〇〇〇圓		

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　第三十六號ノ五記載例ニ準ジテ記載スベシ

書式第三十九號ノ四

明治　年度（第何期）營造物及附屬物增減異動報告（電信電話線路）

地域	營造物	附屬物	種類	番號	數量	價格	年增減月日	記事
（何何間）	（線何何電信）							
		（何何）		（一）	（一）	（一）		（一）
合計								

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　本表ニ掲ケタル外ハ第三十八號ノ二及第三十九號ノ二ニ準ジ報告例ノ編纂其他ノ事項ハ總テ第三十八號ノ二及第三十九號ノ二ニ依リ調査スベシ

書式第三十九號ノ五

明治　年度（第何期）營造物及附屬物增減異動報告（燈臺燈竿）

所在地	營造物	附屬物	構造	數量	價格	年增減月日	記事
	（何何燈臺）		（何何造）	（一）基			（何何ニ付新設）
		（何何）		（一）基			（何何）
	（何何燈竿）		（何何造）	（一）基			（何何ニ付新設）
		（何何）	（一）	（一）基	（一）圓		（何何ニ付新設ノ爲メ何何燈竿ヨリ移轉）
		（何何）	（一）	（一）基	（一）圓		（又ハ何ヘ何ニ付何何ヨリ移轉）
（合計）					（一）圓		

右及報告候也

年　月　日　（官氏名印）

朝鮮總督府總務部會計局長宛

一　第三十六號ノ五記載例ニ準ジテ記載スベシ

二　甲表ニ例示スル如ク營造物及附屬物ノ增減異動ニ關シ其ノ他ノ事項ハ總テ第三十八號ノ二及第三十九號ノ二ニ準ジ報告例ノ編纂其他ノ事項ハ總テ第三十八號ノ二及第三十九號ノ二ニ準ジ報告スベシ

三　營造物ノ構内ニ燈標、燈竿等ニ附屬スル電線、電燈、瓦斯燈、避雷針等ノ類ヲ掲ケ又ハ設置スル場合ニ於テハ其ノ由ヲ摘記スベシ

第 8221 号　本文

書式第三十九號ノ六（用紙美濃十三行罫紙）　（△印ハ朱書）

明治　年度（第何期）船舶及附屬物增減異動報告

所在地	船 種類（噸數、馬力、間尺）	船 番號	附屬物	數量	價格	增減年月	記事
	（小蒸汽船）（何噸何馬力）	（二）		（一）艘	（三、七五〇、〇〇〇）	（何年何月）	（何何用ノ爲メ新造又ハ買上）
			（何何）	（三）箇	（一五、〇〇〇）	（同）	
（合計）					（三、七六五、〇〇〇）		

右及報告候也

年　月　日

朝鮮總督府總務部會計局長宛　（官　氏　名　印）

備考

一　本表ニ揭クル船舶及附屬物ノ種類數量其他ノ事項ハ總テ第三十八號ノ六報告例ノ備考ニ依リ調査スヘシ

二　附屬物ノミヲ買上ケ又ハ賣却シタルトキハ本表ニ例示スル如ク本船ノ種類名稱及其番號ヲ示スヘシ

書式第四十號

名稱及番號其他變更

所在地名	舊名稱	新名稱	番號	記事

年　月　日

朝鮮總督府總務部會計局長宛　（官　氏　名　印）

記載例

一　番號ノ欄內ニハ土地ハ地圖ノ番號建物ハ各其番號ヲ揭クヘシ若シ建物番號ノミ改正シタルトキハ（新）（舊）ノ記號ヲ附シ其番號ヲ示スヘシ

二　記事ノ欄內ニハ名稱又ハ番號變更ノ事由ヲ摘記スヘシ

書式第四十一號ノ一

種目	價格額	月割徵收額	住所	債務者氏名
雜種貸				

年度						
年度	四月	五月	六月	七月	八月	九月
年度	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
年度	四月	五月	六月	七月	八月	九月
年度	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
年度	四月	五月	六月	七月	八月	九月
年度	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月

書式第四十一號ノ二

種目	價格額	住所	債務者氏名
据置貸			
備考			

朝鮮總督府訓令第五十四號

道　府　郡

府尹又ハ郡守ハ徵稅簿又ハ徵收簿ニ基キ所屬年度ヲ左ノ期間ニ區分シ別紙樣式ニ依リ國稅及國有地小作料竝地方費賦課金交付金額報告書ヲ調製シ每期終了後五日以內ニ所屬道長官ニ提出スヘシ

第一期　自四月至六月　第二期　自七月至九月　第三期　自十月至十二月　第四期　自一月至三月

前項ノ規定ハ明治四十三年十月一日以降ノモノニ付テモ之ヲ適用ス

道長官ハ前項報告書ニ依リ面又ハ市場管理者ニ交付金ヲ支給スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十月二十七日

朝鮮總督　子爵寺內正毅

（樣式ノ一）

明治何年度第何期國稅及國有地小作料交付金額報告書

面名	徵收額 地稅	徵收額 戶稅	徵收額 何稅	徵收額 國有地小作料	徵收額 計	交付金額	面長氏名
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
計							

右報告候也

明治何年何月何日

府尹（郡守）氏　名　印

何道長官宛

（樣式ノ二）

明治何年度第何期地方費賦課金交付金額報告書

面名	徵收額 地稅附加稅	徵收額 屠獸稅	徵收額 何稅	徵收額 市場稅	徵收額 計	交付金額	面長又ハ市場管理者氏名
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
計							

右報告候也

明治何年何月何日

府尹（郡守）氏　名　印

何道長官宛

朝鮮總督府訓令第五十五號

朝鮮總督府及所屬官署

內地又ハ朝鮮內ノ旅行ニシテ郵便線路以外ノ地ニ涉ルトキハ內地ニ在リテハ市町村朝鮮ニ在リテハ府、郡又ハ警察官署ヨリ里程ノ證明ヲ受ケ之ヲ旅費請求書ニ添附スヘシ

明治四十三年十月三十一日

朝鮮總督　子爵寺內正毅

朝鮮總督府訓令第五十六號

朝鮮總督府特別會計經費仕拂命令官

明治四十三年朝鮮總督府訓令第五十三號ニ依リ每月提出スヘキ仕拂命令濟額報告書ハ明治四十三年度ニ限リ項中目ノ區分ヲ要ス

明治四十三年十一月一日

朝鮮總督　子爵寺內正毅

○告示

農商務省告示第六百十九號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ長野縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

明治四十三年十一月十五日

農商務大臣　男爵大浦兼武

字	地番	面積（町段畝步）
長野縣北安曇郡美麻村		
入田	一三、一七六	四〇〇
同	一三、一七七	二三一五
同	一三、一七八ノ一	六二八
同	一三、一七九ノ一	六一〇
押出シ	一三、三一二	二三二四
同	一三、三一三ノ一	二六一〇
同	同　ノ二	一一〇五
同	一三、三一五ノ一	七一八
同	一三、三一六	三〇二
同	一三、三一七ノ一	七二〇
同	一三、三一七ノ二	七二〇
同	一三、三一九	一七〇八
同	一三、四二八ロノ一	五〇〇
同	一三、四三二ロノ一	七二九
新行山	一〇、六九八 一〇、七〇四 合併	二三一〇
同	一〇、六九九	一一一〇
同	一〇、七〇〇	一一一〇
同	一〇、七〇一	一一一〇
同	一〇、七〇二	一一二〇
同	一〇、七〇三	一一二〇
同	一〇、七〇五	一一二〇
同	一〇、七〇七イ號	一一二〇
同	一〇、七〇八イ號	三三一〇
同	一〇、七〇九ロ號	九〇七
前平	一〇、七一四	三三一〇
同	一〇、七一五ノ一	三三一〇
同	一〇、七一六	三三一〇
同	一〇、七一八イ號	九〇二
同	一〇、七一九	九〇二
同	一〇、七二〇	四一二〇
同	一〇、七二二	二五〇〇
同	一〇、七二三	一八〇〇
同	一〇、七二四	一一一〇
同	一〇、七二五	一八〇〇
同	一〇、七二六	三六〇〇
同	一〇、七三七	一八〇〇
同	一〇、七三八	一八〇〇
同	一〇、七三九	六五〇〇
同	一〇、七四〇	六五〇〇
同	一〇、七四一	二九〇五
入田	一三、一八〇一號	三二〇
同	一三、一八一一號	五〇二
同	一三、一八三イ號一	一五〇六
押出シ	同　ロ號	五一〇
入田	一三、一八四イ號	八〇七
押出シ	同　ロ號	五一〇
入田	一三、一八五一號	六〇八
同	一三、一八六一號	七二二
同	一三、一八七	六〇〇
同	一三、一八八	三一九
同	一三、一八九	三一〇
同	一三、一九〇	六一九
同	一三、一九一	三〇二
入田日影	一三、二二四ロ號	一三一〇
同	一三、二三〇ロ號	六二〇
いり	一三、二三三	二二五
入田日影	一三、二三四ロ號	八一五
押出し	一三、二九四	五一八
同	一三、二九五	四一二
同	一三、二九六	二一〇
同	一三、二九七	一〇〇〇
同	一三、二九八	八二六
同	一三、二九九	七一〇
同	一三、三〇四	二三一五
同	一三、三〇七	六一六
同	一三、三〇八	九二一
ウトウノ入口	一五、五三〇七號	七〇〇
同	同　八號	七〇〇
同	同　九號	九一五
同	同　一〇號	八〇〇
同	同　一一號	七〇〇
同	同　一二號	七一〇
同	同　一三號	五〇〇
同	同　一四號	五二一
同	同　一五號	一二〇〇
同	同　一六號	八〇〇
御堂入	一五、五三六	三一〇
同	一五、五三八	五〇〇
同	一五、五四〇	七一五
同	一五、五四二ロ號	二〇四
同	一五、五四五	一五〇〇
同	一五、五四六	一五〇〇
同	一五、五五一	二〇〇
同	一五、五五三	五〇〇
同	一五、五五五	一二〇
外山	一五、五九四イ號	三一〇
同	一五、五九五ロ號	一三一五
尾花	一五、五九九ハ號一	一一〇〇
同	同　ハ號二	三三二
同	一五、六〇〇ロ號	九〇〇
尾花山	一五、六〇一	一六二〇
同	一五、六〇二一號	四〇〇
同	一五、六〇三	五〇〇
外山	一五、六〇四	二〇〇〇
岩下	一五、六〇六	五〇〇
同	一五、六〇七	五〇〇
同	一五、六〇八	一四〇〇
カ、原	一五、六一四	二二八
同	一五、六一五	二六一二
岩下	一五、六一五	二二八
カ、原	一五、六一七	二二八
たなばたけ	一五、六一九ロ號	一一六
同	一五、六二〇ロ號	二〇八
同	一五、六二一	二〇二
同	一五、六二二	二九〇五
カけの脇	一五、六二三	二〇〇〇
同	一五、六二四	二〇〇
同	一五、六二五一號	一〇〇〇
同	同　二號	一〇〇〇
ブクデ	一五、六二六	二〇七
壹枚田	一五、六二八ロ號	七一三
がけの脇	一五、六三二イ號	八〇〇
欠ノ脇	同　ロ號	二二四
山崎	一五、六三三	六二四
同	一五、六三四	五〇〇
石原	一五、六四一イ號	六二〇
同	同　ロ號	三〇〇
同	一五、六四三	二二〇
同	一五、六四四	五一〇
向山	一五、六四五	五一〇
前澤	一五、六四六	二一二
同	一五、六四七	一一〇
同	一五、六四八イ號	一一二〇
同	一五、六四八ロ號	三一六
同	同　ハ號	七二一
同	一五、六四九	一一二〇
前ノ澤	一五、六五〇	一〇〇〇
日向尻	一五、七〇九ロ號	一一〇二
同	一五、七四八	六二〇
同	一五、七四九	一一二〇
家の上	一五、七五二イ號	一〇〇
同	一五、七五六	二〇〇
同	一五、七六七	六〇〇
堂屋敷	一五、七七三	一八
日向	一五、八〇六ホ號	一一二
同	一五、八〇九ロ號	一〇五
同	一五、八一〇ハ號	一七二五
同	同　ニ號	二二一五
同	同　ホ號	三〇二
同	同　ヘ號	四二四
同	同　ト號	一一二六
同	同　チ號	三〇三
岩花	一五、八一二ロ號	四二四
同	同　ハ號	三〇七
同	同　ニ號	四〇〇
同	同　ホ號	三一五
同	一五、八一三ロ號	四二四
センメイウ	一五、八三〇イ號一	二〇〇〇
同	同　イ號二	一八〇〇
同	同　イ號三	三〇〇
むじな澤日影	一五、八三二ロ號	四〇〇
センメイウ	一五、八三三	四〇〇〇
普目う	一五、八三四ロ號	一〇五
同	同　ハ號	一〇五
イナパ	同　ニ號	一〇〇
同	同　ホ號	三一五
西ノ澤	一五、八七八	一一二〇
水澤口	一五、九五〇	七一五
同	一五、九五一	四〇〇
同	一五、九五二	二〇〇
新道	一五、九五三	九〇〇
同	一五、九五四	七一五
同	一五、九五五	一一二〇
同	一五、九五六	一一二〇
山ノ腳下	一五、九五七	一一二〇
同	一五、九五八	五〇六
横手	一五、九五九	七一五
同	一五、九六〇イ號	三一〇
同	同　ロ號	三一〇

第8221号　本文

許可 8221 号 大正5年

特旨ヲ以テ位一級被進（十一月十日宮内省）

南京在勤ヲ命ス　陸軍一等軍醫正七位勲四等　淺石　長雄

桑港在勤ヲ命ス　領事　鈴木　榮作

新嘉坡在勤ヲ命ス（以上十一月十四日外務省）　領事　近藤　愿吉

豫備役被仰付（十一月十四日海軍省）　副領事　岩谷　讓吉

八級俸下賜（十一月司法省）　海軍大軍醫　高橋　元眞

仙臺、米澤、秋田三市ヘ出張ヲ命ス（十一月支部省）　唐津區裁判所判事判事　岩崎　正誼

横濱ヘ出張ヲ命ス（十一月遞信省）　支部技師　久留　正道

神奈川縣控訴院檢事長　航路標識管理所技師　明石　幸橘

三級俸下賜（以上十一月同）　朝鮮總督府　中村　竹藏

四級俸下賜（八十一月）　朝鮮總督府檢事　中村　竹藏

朝鮮總督府鐵道局參事　瀧脇　瀧太郎

○宮廷錄事

○演習御統裁　天皇陛下ハ昨十四日午前七時四十五分大本營御出門同八時中國鐵道岡山假停車場御發車同八時二十分吉備津停車場御著車都窪郡加茂村大字惣爪高地ニ於テ演習御統裁同十一時十五分還幸アラセラレタリ

○勅使差遣　昨十四日故檢事正四位勲三等關義幹北海道札幌區ニ於テ葬送ニ付キ勅使トシテ北海道廳長官河島醇ヲ同人邸ニ差遣ハサレ幣帛ヲ下賜ヒタリ

○彙報

○官廳事項

○華族改名　伯爵大谷光瑞養子從五位大谷尊重ハ光明ト改名ノ旨届出テタリ

○華族隱居　從二位子爵梅渓通治ハ本月十一日隱居ヲ爲シタル旨届出テタリ

○官吏發著　識ニ關シ（派遣ノ鐵道院技師本下淑夫及同參事菅木治郎ハ本月五日發、七日歸朝セリ

久邇宮殿下御用掛磯谷熊之助ハ本月十一日京都出發三重縣下ヘ出張ノ上同縣下鹽原、日光田母澤兩御用邸ヘ出張ノ同察技師山本直三郎ハ一昨十三日發、七日歸京ノ近衛師團機動演習實視トシテ同演習地ヘ差遣ノ東宮武官水城幹太郎ハ同日出發セリ

識ニ關シ手縣下ヘ出張ノ假田歩兵第十六旅團長ハ去月三十日、同上ノ橋本歩兵第四旅團長ハ本月七日、富山、石川兩縣下ヘ出張ノ神尾第九師團長、松川歩兵第六旅團長、第九師團參謀長白水淡、愛知、岐阜兩縣下ヘ出張ノ黒澤歩兵第五旅團長及長野縣地方ヘ出張ノ森川歩兵第二十六旅團長ハ同九日、名寄地方ヘ出張ノ山本歩兵第十三旅團長、栃木、群馬兩縣下ヘ出張ノ嶋崎歩兵第二十八旅團長、第十四師團參謀長佐藤舘次及名古屋ヘ出張ノ第十五師團參謀長伊藤圓平ハ同十日歸モ歸著ノ上原第七師團長ハ特別大演習賠償ノタメ岡山縣下ヘ向ヒ同三日、愛吉歩兵第十二旅團長ハ秋季演習ノタメ福岡縣地方ヘ向ヒ同八日、水多騎兵第三旅團長ハ地理實査ノタメ秋田地方ヘ向ヒ小原對島警備隊司令官ハ歩兵第三十五旅團機動演習見學ノ爲第二種演習參加ノタメ小倉地方ヘ向ヒ同九日、安東第十二師團長ハ秋季演習ノタメ鹿兒島縣地方ヘ向ヒ艦島第十四師團長ハ特別大演習陪觀ノタメ岡山縣下ニ向ヒ木村第十八師團長及同師團參謀長吉海厳潮ハ機動演習ノタメ佐賀、福岡、熊本三縣下ニ向ヒ由比歩兵第二十七旅團長ハ特別大演習陪觀ノタメ岡山縣下ニ向ヒ同十日歸モ出發、靜岡縣下沼津町ヘ出張ノ内山第十五師團長ハ同日歸著更ニ特別大演習見學ノタメ松川歩兵第六旅團長ハ同演習陪觀ノタメ岡山縣下ニ向ヒ同十一日、陸軍運輸部本部長千秋直之ハ同上ノタメ同演習地ニ向ヒ杉浦騎兵第二旅團長ハ第二師團機動演習參加ノタメ埼玉、神奈川兩縣地方ニ向ヒ川谷鹿島灘要塞司令官ハ特別大演習陪觀ノタメ岡山縣下ニ向ヒ同十二日、仙臺陸軍地方幼年學校長富原貞一郎ハ教育景況視察ノタメ青森縣弘前並ニ北海道旭川地方ニ向ヒ一昨十三日歸モ出發セリ

識ニ上京ノ宮澤陸地方裁判所檢事正雪下陽ハ本月十日、山川長崎控訴院檢事長、池上函館控訴院檢事長秦良地方裁判所長丸山精三函館地方裁判所檢事正羽佐間榮次郎、根室地方裁判所檢事正小野澤龍吉、中谷樺太地方裁判所長樺太地方裁判所檢事正遠藤清三郎ハ一昨十三日歸モ出發歸任ノ識ニ札幌地方裁判所ヘ出張ヲ命セラレタル司法技師横濱勉ハ本月十一日出發セリ

學術實地指導ノタメ千葉縣下ヘ出張ヲ命セラレタル東京帝國大學農科大學助教授久保健慶ハ本月九日出發ノ識ニ英國ヘ差遣ノ因所文部省參事官ハ同十一日歸朝セリ

長野縣下ヘ出張ノ戸田行政裁判所評定官及福島縣下ヘ出張ノ行政裁判所評定官三宅德業ハ一昨十三日歸モ歸京セリ

識ニ上京ノ伊澤愛媛縣知事ハ本月十二日、滿樓新潟縣知事ハ一昨十三日、大山長野縣知事ハ昨十四日歸モ出發歸任セリ

○官吏卒去及死去　現役陸軍少將正四位勲二等功二級島村干雄ハ本月九日卒去シ退役海軍大佐正六位勲四等油田眞賢ハ於テ辯護士名簿ノ登錄ヲ取消セリ

海軍少尉正八位勲七等功五級南部竹次郎ハ同二十五日、

司法及警察

○辯護士名簿登錄取消　神戸地方裁判所所屬辯護士田中二郎ハ死去ニ因リ本月一日所屬裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄ヲ取消セリ

○出火　東京府及鹿兒島縣ニ於ケル出火左ノ如シ

東京府　一昨十三日午前二時五十分東京市麻布區宮村町六十七番地ヨリ出火全燒二棟同四時四十分鎭火原因過失ナリ

鹿兒島縣　本月七日午後二時川邊郡西加世田村大浦ヨリ出火住屋十一棟、附屬建家十三棟燒失同三時三十分鎭火原因過失ナリ

○陸海軍

○水路告示第二千二百九十六號

一艦艇ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ速ニ其關係ノ區勝ヲ改正增補セシコトヲ要ス

一方位ハ總テ磁針ニシテ經點ノ方位ハ海方ヨリ取ル

一緯經度ハ別ニ記事ナキトキハ總テ概位ナリ

一覺礁等ノ光達距離ハ晴夜ニ於ケルモノナリ

一陰中信號ハ寒濛若クハ霧霧アル天氣ノ時ノミ施行ス然ラサルモノハ特ニ其旨ヲ注記ス

一水深ハ平均大低潮面下ノモノヲ示ス

一高ハ平均大高潮面上ノモノヲ示ス

第七一八三項

Sumatra 西岸

岩礁ノ不存在

(甲) Amelia reef.

一位置　北緯一度一分半　東經九八度一二分半

右位置ニ於テ二百六十七尋ノ水深ヲ測得セリ

○敍任及辭令

○明治四十三年十一月十三日

敍從六位

正七位勲四等　淺石　長雄

（乙）Amelia reef ヨリ南東ヘ三浬ノ處ニ岩礁アリ

一位置　北緯零度五九分　東經一〇六度一五分

一記事　右位置ニ於テ二百五十八尋ノ水深ヲ測得セリ

一注意　前記ノ二礁ハ海圖ヨリ之ヲ削除スト雖モ其近傍ハ危險ニシテ要スルニ右二礁ノ近傍ハ岩々一部ノ除外ヲ施行セシニ過キサルヲ以テ其近傍ヲ航行スルトキハ注意ヲ要ス

一備考　一九一〇年査

一關係海圖　第六〇一二號

一關係書類　支那海水路誌第五卷下一一〇四頁

一出所　一九一〇年英水路部告示第一三一六號

第七一八四項

菲律賓諸島　Mindanao 北岸

Polo point 燈臺燈質等ノ變更

一位置　北緯八度三六分　東經一一三度四五分

一變更　明暗紅光燈ヲ不動紅光燈ニ變セリ

一燈高　未詳

一光達距離　七浬

一關係海圖　第六〇一二號第六一九號

一關係書類　支那海水路誌第七卷下一一四頁東洋燈臺表下卷五一頁一七九番及水路告示第一三一四六號

一出所　一九一〇年英水路部告示第一三四三號

第七一八五項

Sumatra 西岸

Pulo Nias 西岸海濱ノ發見

一位置　Pulo Lawanda ヨリ北五度西距離五浬ノ處　北緯零度五八分　東經九七度一三分

一備考　一九一〇年査

一關係海圖　第六〇一二號

一關係書類　支那海水路誌第五卷下一一九頁

一出所　一九一〇年英水路部告示第一三四四號

第七一八六項

支那海峽部　Banka 東岸

（一）Liat rock 燈臺ノ設置

一位置　南緯一度四九分　東經一〇六度一一分半　海圖第五九〇號ニ據ル

一燈質　每三秒ノ白閃光燈

一燈高　三十三呎

一光達距離　十浬

一構造　白塗鐵造格式燈臺

（二）Koba roadstead 燈臺ノ設置及挂燈竿ノ撤去

一位置　Langka point ヨリ北六一度西二六浬ニアル礁ノ北西緣　南緯二度一七分　東經一〇六度一五分半ノ處

一燈質　每三秒ノ白閃光燈

一燈高　三十四呎

一光達距離　十浬

一構造　白塗鐵造格式燈臺

一注意　此燈臺位置ノ近傍ニアル挂燈竿標ヲ撤去セリ

一備考　一九一〇年一度實

一關係海圖　第五九〇號第五八九號第六〇九號

一關係書類　第五八七號第五八六號第五八九號

一關係書類　支那海水路誌第五卷下一一七頁五一八頁

一出所　一九一〇年英水路部告示第一三七九號

第七一八七項

支那海　Banka strait

Bauju Asin river 浮標ノ變更

一位置　南緯二度二三分　東經一〇四度四六分

一變更　（一）白塗挂燈浮標ヲ棱ト杆及漆柏白塗圓錐形浮標ヲ代置ス

（二）黑塗挂燈浮標ヲ棱ト黑塗圓錐形浮標ヲ代置ス

一關係海圖　第五八七號第五八六號第五八九號

一關係書類　支那海水路誌第五卷下一一七頁五一八頁

一出所　一九一〇年英水路部告示第一三七九號

第七一八八項

菲律賓諸島　Samar 東岸

Divinubo island 燈臺燈質ノ復舊

一位置　北緯一一度三六分　東經一一五度三〇分

一復舊燈質　每十五秒ノ明暗白光燈

一關係海圖　第六七三號第六八九號

一關係書類　支那海水路誌第七卷下一一六頁東洋燈臺表下卷四四頁一四五番及水路告示第一三六五號

一出所　一九一〇年英水路部告示第一三八五號

右告示ス

明治四十三年十一月十五日　水路部長　中尾雄

注意

一、各諸局行ノ圖解ハ左記ノ各地ニ各之ヲ置ク

一、本部編纂ノ式會計實務本位ノ簿記ノ圖解ハ左記ノ各局ニ之ヲ置ク

一、生徒ニ與フル印刷物ハ左記ノ圖解ニ從ヒ本部ヲ經由シテ各局ニ之ヲ要求スヘシ

一、生徒ニ與フル印刷物ハ左記ノ圖解ニ從ヒ本部ヲ經由シテ各局ニ之ヲ要求スヘシ

○公州憲兵隊管内山城兵分隊移轉

公州憲兵隊管内山城兵分隊ハ去月二十八日忠清南道公州郡内面鐵洞元守備隊ノ移轉同日ヨリ事務ヲ開始セリ（陸軍省）

○軍艦鹿島香取各港灣ニ於ケル軍艦碇泊ノ如シ（海軍省）

○學事

○東京女子高等師範學校規則中改正

東京女子高等師範學校ニ於テ今般同校規則中左ノ通改正セリ（文部省）

第三條　學科ヲ分チテ文科理科トス

第四條　文科ハ修身教育國語漢文歷史地理外國語音樂圖畫ヲ以テ之ヲ分チテ文科第一部第二部トス

第五條　文科第一部ノ學科目ハ修身教育國語漢文歷史地理外國語音樂圖畫トス

文科第二部ノ學科目ハ修身教育國語漢文歷史地理外國語音樂圖畫トス

第8221号　本文

外國語(英語)
講讀　書取　文法　作文
音樂
單音唱歌　重音唱歌　樂器練習
體操
普通體操　遊戲　體操理論　教授法
理科第二部
修身
理科第一部ニ同シ
教育學
理科第一部ニ同シ
植物
形態　組織　生理　分類　生態　[illegible]
實驗　教授法
動物
解剖　組織　發生　分類　生態　實驗
教授法
生理及衞生
營養生理　運動生理　神經生理　衞生學
通論　傳染病豫防法大意　教授法
地質及鑛物
鑛物通論　鑛物各論　岩石　地殼ノ構造
變動及發達　實驗　教授法
數學
算術　代數　幾何　三角法　解析幾何
微分積分大意　教授法
物理及化學
物理學大意　化學大意
外國語(英語)
理科第一部ニ同シ
圖畫
寫生畫
音樂
理科第一部ニ同シ
體操
理科第一部ニ同シ
技藝科第一部
修身
教育ニ關スル勅語ノ述義　戊申詔書ノ述義　實踐倫理　倫理學大意　東西道德思想史　我カ國民道德ノ特質　作法　家政
本邦法制及經濟ノ大意　教授法
教育學
心理學　論理學　教育史　教育學　教授法　保育法　教育法令　教育衞生　學校管理法　教育實習

家事
衣食住　管理　洗濯　掃除　割烹　養老　育兒　看護　家事經濟　家計簿記　園藝　實習　教授法
生理及衞生
營養生理　運動生理　神經生理　衞生學　通論　傳染病豫防法大意
應用理科
應用物理大意　應用化學大意　細菌學大意
裁縫
裁方　縫方　繕方　教授法
圖畫
自在畫　圖案
國語
講讀　作文
外國語(英語)
講讀　書取　文法　作文
音樂
單音唱歌　重音唱歌　樂器練習
體操
普通體操　遊戲　體操理論　教授法
技藝科第二部
修身
技藝科第一部ニ同シ
教育學
技藝科第一部ニ同シ
家事
技藝科第一部ニ同シ
生理及衞生
技藝科第一部ニ同シ
應用理科
技藝科第一部ニ同シ
圖畫
自在畫　用器畫　圖案　繪畫史　教授法
手藝及手工
編物　刺繡　造花　袋物　組絲　紙　竹　土　木及金ノ細工　教授法
國語
技藝科第一部ニ同シ
外國語(英語)
技藝科第一部ニ同シ
音樂
技藝科第一部ニ同シ
體操
技藝科第一部ニ同シ

第十二條ヲ左ノ如ク改ム
第十二條　各學科ノ毎週教授時數ハ左表ノ如シ(教授時數表略ス)
第十三條ヲ削除シ第十四條ヲ第十三條トシ第二十三條ニ至ルマテ順次繰リ上ク
第十三條(舊第十四條)中「三百名」ヲ「四百五十人」ニ改ム
第十四條(舊第十五條)中「十二月」ヲ「十月」ニ改ム
第十六條(舊第十七條)中「竝ニ戸籍謄本」ノ六字ヲ削リ薦擧書式中「文科理科技藝科」ヲ「文科第一部又ハ第二部理科第一部又ハ第二部技藝科第一部又ハ第二部」「官費私費」ニ改メ身體檢査書ノ下戸籍謄本ノ四字ヲ削除ス
第十八條(舊第十九條)中技藝科入學試驗學科目中圖畫ノ一科目ヲ加ヘ裁縫以下ヲ左ノ如ク改ム
裁縫　裁方　縫方(第一部志望者ニ限ル)
圖畫　自在畫(第二部志望者ニ限ル)
第二十條(舊第二十一條)ヲ左ノ如ク改ム
第二十條　前條ノ募集ニ應シテ入學ヲ願出ツル者ニハ左式ノ願書ニ第十六條書式ノ履歷書ヲ添ヘ差出サシム(書式略ス)
第二十一條(舊第二十二條)ヲ左ノ如ク改ム
第二十一條　入學ヲ許可セラレタル者ニハ身上ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ保證人ヲ定メ入學ノ際左式ノ保證書及誓書ヲ差出サシム(書式略ス)
第二十二條(舊第二十三條)ヲ左ノ如ク改ム
第二十二條　保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ住居スル者タルヘシ
但シ保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ
第二十四條ヲ削除シ第二十五條ヲ第二十三條トシ第二十八條ニ至ルマテ順次繰リ上ク
第二十三條(舊第二十五條)中「生徒」ノ上ニ「官費」ノ二字ヲ加フ
第二十四條(舊第二十六條)ヲ左ノ如ク改ム
第二十四條　生徒在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者アルトキハ官費生ニ在リテハ支給セラレタル學資及授業費ヲ私費生ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム
但シ償還スヘキ學資及授業費ノ全部又ハ一部ヲ文部大臣ヨリ免除セラレタルトキハ此ノ限ニアラス
第二十九條ヲ削除シ第三十條ヲ第二十七條トシ第四十五條ニ至ルマテ順次繰リ上ク
第三十二條(舊第三十五條)中「實地練習」ヲ「教育實習」ニ改ム
第三十三條(舊第三十六條)及第三十五條(舊第三十八條)中卒業證書書式中「文科理科技藝科」ヲ「文科第一部(又ハ第二部)理科第一部(又ハ第二部)技藝科第一部(又ハ第二部)」ニ改ム
第三十六條(舊第三十九條)ヲ左ノ如ク改ム
第三十六條　第四學年第二學期ノ後半及第三學期ニ於テ各學科生徒ヲシテ附屬校園ニ於テ教育實習ニ從事セシム
第三十八條(舊第四十一條)ヲ左ノ如ク改ム
第三十八條　教育實習期ハ毎年十一月上旬ヨリ翌年三月下旬マテトス
第四十六條ヲ削除シ第四十七條及第四十八條ヲ繰リ上ク
第四十三條(舊第四十七條)ヲ左ノ如ク改ム
第四十三條　研究科生タラントスル者ハ本校卒業生若クハ試驗ニ依リ之ト同等ノ學力ヲ有スト認メラレタル者タルヘシ
第四十四條(舊第四十八條)中「第十七條」ヲ「第十六條」トシ「履歷書」ノ下「竝ニ戸籍謄本」ノ六字ヲ削除シ入學願書書式中「御校研究科」ノ下ニ「官費私費」ノ四字ヲ加フ
第四十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ之ヲ第四十五條トス
第四十五條　入學ヲ許可セラレタル者ニハ左式ノ誓書ヲ差出サシム(書式略ス)
第四十六條(舊第四十九條)中「場合ニ限リ」ノ下「試驗ノ上」ノ四字ヲ削除ス
第五十三條(舊第五十六條)ヲ左ノ如ク改ム
第五十三條　第八條乃至第十條第二十一條(舊第二十一條ヲ省ク)第二十二條第二十四條乃至第二十六條ハ研究科生ニ適用ス

第六十一條ヲ削除シ第六十二條ヲ第五十八條トシ第七十三條ニ至ルマテ順次繰リ上ク
第五十八條(舊第六十二條)中「第十七條」ヲ「第十六條」トシ「履歷書」ノ下「竝ニ戸籍謄本」ノ六字ヲ削除ス
第六十條(舊第六十四條)ヲ左ノ如ク改ム
第六十條　第八條乃至第十條第二十一條第二十二條第二十四條第二十六條乃至第三十一條ハ官費私費專修科生ニ第十六條(履歷書式中「文科理科技藝科」ハ「文科第一部又ハ第二部理科第一部又ハ第二部技藝科第一部又ハ第二部」「官費私費」「生徒」トアルヲ何々專修科官費私費專修科生トシテ)第十七條ハ官費專修科生ニ適用ス
第六十一條(舊第六十五條)ヲ左ノ如ク改ム
第六十一條　女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル女子ニシテ文科、理科、技藝科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者アルトキハ教授上差支ナキ場合ニ限リ選科生トシテ入學ヲ許ス
第六十二條(舊第六十六條)中「倫理」ヲ「修身」ニ改ム
第六十五條(舊第六十九條)中「第十七條」ヲ「第十六條」トシ「履歷書」ノ下「竝ニ戸籍謄本」ノ六字ヲ削除シ入學願書書式中「文科理科技藝科」ヲ「文科第一部又ハ第二部理科第一部又ハ第二部技藝科第一部又ハ第二部」ニ改ム
第六十八條(舊第七十二條)中卒業證書書式中「文科理科技藝科」ヲ「文科第一部又ハ第二部理科第一部又ハ第二部技藝科第一部又ハ第二部」ニ改ム
第六十九條(舊第七十三條)ヲ左ノ如ク改ム
第六十九條　第八條乃至第十二條第二十一條(舊第二十一條ヲ省ク)第二十二條第二十四條乃至第三十二條第四十五條ハ選科生ニ適用ス

○産業

○純金相場　本月七日ヨリ十二日ニ至ル各日純金相場百匁ニ付キ五百圓ナリ(日本銀行ノ報告ニ據ル)
○磅相場　本月七日ヨリ十二日ニ至ル各日磅相場一磅ニ付キ九圓八十二錢九毛ナリ(横濱正金銀行ノ報告ニ據ル)

○通運

○航海獎勵認許證書下付　遞信省ニ於テ航海獎勵法ニ依リ日本郵船株式會社所有船備後丸ニ對シ本月十一日ヨリ明治四十四年十一月四日マテ有效ノ認許證書ヲ下付セリ該船ハ同三十一年四月五日帝國船籍ニ登錄セラレタル鋼製汽船(總噸數六千二百四十七噸三六、最強速力十四海里四六)ニシテ同三十年八月三十日進水セシモノナリ(遞信省)

○雜事

○第三回感化救濟事業講習會　今十五日ヨリ本月三十日マテ帝國教育會ニ於テ第三回感化救濟事業講習會ヲ開催シ引續キ感化院長事務打合ヲ爲ス其講習會ノ講師及科目左ノ如シ(内務省)

一救濟事業ノ要義　内務省參事官法學博士　井上友一
一泰西ニ於ケル各種救濟事業　内務省參事官　長谷川久一
一感化事業ト其管理　内務省囑託　留岡幸助
一救濟事業ノ比較研究　内務省囑託　生江孝之
一兒童研究　高島平三郎
一低能兒教育　東京高等師範學校教授　乙竹岩造
一實踐倫理　東京帝國大學文科大學教授文學博士　中島力造
一酒ト精神病トノ關係　東京帝國大學醫科大學教授醫學博士　片山國嘉
一我國ニ於ケル宗教家ノ救濟事業　大内青巒
一宗教ト感化救濟事業トノ關係　内務省宗教局長　斯波淳六郎
一不良少女ノ感化　橫濱監獄典獄　有馬四郎助
一衞生ト感化救濟事業　内務省衞生局長　窪田靜太郎
一歐米ニ於ケル救濟事業視察談　内務省參事官　小橋一太
一感化救濟事業ト精神病トノ關係　東京帝國大學醫科大學助教授醫學博士　三宅鑛一
一感化救濟事業當局者ノ心得　内務省地方局長　床次竹二郎

○地方行政

○府縣會　東京府ニ於テ明治四十三年度歲入歲出追加豫算議定ノタメ本月十二日臨時府會、市部會、郡部會ヲ招集セリ(東京府)◎岐阜縣ニ於テ同四日開會ノ臨時縣會ハ議事結了同十日閉會セリ(岐阜縣)◎青森縣ニ於テ同十九日通常縣會ヲ招集ス(青森縣)◎佐賀縣ニ於テ同二十五日通常縣會ヲ開ク(佐賀縣)◎宮崎縣ニ於テ同日通常縣會ヲ招集ス(宮崎縣)
○縣參事會員補充員當選　岐阜縣ニ於テハ名譽職縣參事會員補充員三宅亨辭職ニ付キ臨時縣會ニ於テ補闕選擧ヲ行ヒシニ岡庭泰助當選セリ(岐阜縣)

○在外公館報告

○傳染病月報　局子街ニ於テ去月中腸窒扶私患者一(十六日發生二十四日全治)アリタル旨在間島帝國總領事館局子街分館ヨリ報告アリ(去月十五日本欄内參看)(外務省)
○上海綿花及綿絲市況　上海ニ於ケル綿花及綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事代理領事官補三穗五郎ヨリ本月十二日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ(本月八日本欄内參看)(外務省)
支那綿花ハ雨天ノタメ各地トモ出荷減少セシモ需要向ハ綿絲好況ニ推サレ買焦リ氣味ナルヲ以テ市況手堅ク本月一杯ハ下落望ミ難シ
通州器械上等　二六六〇　南支品　二五二〇　北支品　二五六〇
支那綿絲ハ天津成都筋ニ賣行アリ市況堅ク前週ヨリ二兩高ヲ唱フ
日本綿絲ハ依然漢口、四川、天津方面ニ引續キ賣行アリ在荷少ク相場割高
藍魚十六手　一一七六五　嘉比羅十手　一一七六五　在荷　六四五七
印度綿絲モ北濟及四川方面ニ賣行アリ本邦高ノタメ相場高構ヘナリ在荷四〇〇〇〇
○印度金銀輸出入高　印度ニ於ケル本年八月中ノ金銀輸出入高ニ付キ在孟買領事館事務代理外務書記生吉田信友ヨリ去月十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ(去月二十五日本欄内參看)(外務省)
本年八月中ニ於ケル金ノ輸入高ハ七百七十三万八千百五十四「ルーピー」、銀ノ輸入高ハ千七十九万千百七十五「ルーピー」、合計千八百五十二万九千三百二十九「ルーピー」ニシテ金ノ輸出高ハ三百五十三万九千五百六十一「ルーピー」、銀ノ輸出高ハ六百五十一万四千百六十「ルーピー」、合計千五万三千七百二十一「ルーピー」、差引八百四十七万五千六百八「ルーピー」ノ純輸入ト爲リ之ヲ前月同額ニ比スレハ千三十七万四千七百六十五「ルーピー」ノ減少ナリ
今左ニ四十三年八月中及前年同月中ニ於ケル金銀輸出入表ヲ揭クヘシ

第8221号　本文

		八月		自四月至八月累計	
		四十三年	四十二年	四十三年	四十二年
輸入	金（「オンス」）	一二二、〇三六	一、〇一五、五四	六三八、〇五五	一、〇一五、五四
	金（「ルーピー」）	七、七二八、一五四	六、五四四、九二六	四〇、〇五五、二七四	三四、四二一、七二七
	銀〃	五、七四〇、〇七二	三、七一〇、一七五	三四、四二一、七二七	五六、六四〇、〇七六
	計（「ルーピー」）	一〇、七五二、三九	一六、二六二、四八	九六、七〇五、二八四	九六、七〇五、二八四
輸出	金（「オンス」）	六二、八六六	四九、〇四二	三七、三六一	二四二、一六一
	金（「ルーピー」）	三、五三九、五六一	二、七八四、七二一	一九、四〇三、六七五	一三、七二五、九七五
	銀〃	二、三二三、四九五	二、二九〇、一四二	一四、三四二、八〇九	一二、三一八、〇四三
	計（「ルーピー」）	六、五二四、四六〇	五、七六二、〇二一	三四、二五九、五四〇	二五、一〇四、〇〇〇
差引純輸入（「ルーピー」）		一〇、〇五三、七二一	八、四七五、八〇八	七、七一六、二一一	七、一六二、三四八

○印度銀貨鑄造高　印度ニ於ケル本年八月中ノ銀貨鑄造高ニ付キ在孟買領事館事務代理外務書記生吉田信友ヨリ去月十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月二十四日本（外務省）棚内參看）

本年八月中印度孟買及カルカッタ兩造幣局ニ於ケル銀塊及銀貨ノ輸納高ハ二百九十万二千二百十八「ルーピー」（金部屬損「ルーピー」貨）ニシテ前月同額ニ比シ九十二万百三十四「ルーピー」ノ增加ナリ

銀貨鑄造高ハ二百十四万千六百八十一「ルーピー」ニシテ之カ內譯ハ「ルーピー」貨八十万千九「ルーピー」、英佛小銀貨五十三万六百五十五「ルーピー」ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ百五十九万二千九百三十七「ルーピー」ノ減少ヲ示セリ

今左ニ四十三年八月及前年同月ニ於ケル金銀輸納高及銀貨鑄造高ヲ揭ク

		八月		自四月至八月累計	
		四十三年	四十二年	四十三年	四十二年
銀輸納高	カルカッタ造幣局	一、八九七、七六七	一、三一五、一〇七	六、二四三、一六五	四、一九九、四〇四
	孟買造幣局	一、〇〇四、四五一	一、八五三、一五七	三、〇八〇、〇二五	大、二四六、八〇三
	計	二、九〇一、二一八	三、一六八、二六四	九四三〇、六八二	一二、四三二、二〇七
銀貨鑄造高	カルカッタ造幣局	一、六二一、〇二六	一、一〇〇、〇一四	五、八一九、三三四	六、二三五、三一四
	孟買造幣局	五三〇、六五五	一、一〇二、六四八	一、五五一、六四五	四、四〇〇、〇〇三
	計	二、一四一、六八一	二、二〇二、六七二	七、一〇一、六四九	一〇、六三五、三一七

○孟買綿花市況　孟買ニ於ケル綿花市況ニ付キ同地駐在領事岩崎三雄ヨリ本月十二日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月八日本（外務省）棚內參看）

本週降雨アリタルタメ多少ノ損害ト新綿ノ延着ヲ氣遣ヒ且ツ英米ノ影響ニテ相場大ニ騰貴セリ輸出筋買入少ク紡績筋ハ古綿ニテ漸ク後キ居レリ市場手堅シ現、ファイン、ベンゴル、二九八、ファイン、アコラ、アムラオチ、三二二、ファイン、カシデッシ、三〇二、一月積ハ四五、「ルーピー」方安在荷十四万

○天氣概況　淺キ低氣壓四川省ニ顯レ揚子江ニ沿ヒテ東行シ來ラントス又北滿ニ顯レシ低氣壓ハ遼東半島ニ接近シツヽアリ

琉球及朝鮮ニテハ北東風吹キ概ネ曇天ナレトモ九州ヨリ東北地方マテハ天氣晴朗ノ日ニテ殊ニ本邦西部ニテハ全ク雲ヲ見サル處多ク北海道ニテモ好晴ナレトモ北西ノ信風強シ信飛高原ニテハ濃霧ノ生シタル處多ク滿洲ニテハ快晴ニシテ降霜アリタリ

○觀象

十一月六日

氣壓　溫度　風　雨量　天氣

區別	測候所	午前六時	午前八時	午前六時	最高	最低	風向	風速	雨量	天氣
一	根室	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	寿都	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	小樽	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	札幌	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	岩見沢	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	網走	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	北見	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	紋別	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	帯広	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	釧路	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	厚岸	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浦河	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	函館	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松前	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	江差	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
二	寿都	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	山形	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	白河	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮古	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	石巻	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	秋田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	酒田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	新潟	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	相川	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	伏木	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	金沢	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	輪島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福井	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	敦賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	豊岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	鳥取	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	米子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松江	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浜田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	西郷	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	岡山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	津山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
三	長崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	佐世保	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	厳原	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福江	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	口之津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	熊本	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	八代	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	阿久根	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	鹿児島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	延岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	都城	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	大分	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
四	佐賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	飯塚	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	下関	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	萩	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	広島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	呉	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	多度津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宇和島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高知	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	足摺岬	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	室戸岬	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	神戸	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	大阪	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	和歌山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	潮岬	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
五	名古屋	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	尾鷲	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浜松	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	静岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	御前崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	甲府	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	河口湖	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	小田原	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	東京	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	銚子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	館山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	横浜	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	横須賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	三崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	長野	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松本	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高遠	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	飯田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
六	甲府	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	河口湖	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	小田原	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	東京	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	銚子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	館山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	横浜	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	横須賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	三崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	長野	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松本	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高遠	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	飯田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
七	金沢	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	輪島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福井	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	敦賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	豊岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	鳥取	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	米子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松江	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浜田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	西郷	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	岡山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	津山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
八	金沢	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	輪島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福井	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	敦賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	豊岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	鳥取	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	米子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松江	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浜田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	西郷	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	岡山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	津山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
九	上関	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	下関	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	萩	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	広島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	呉	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	多度津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宇和島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高知	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	足摺岬	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	室戸岬	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	神戸	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	大阪	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	和歌山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	潮岬	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
十	名古屋	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	尾鷲	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浜松	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	静岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	御前崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	甲府	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	河口湖	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	小田原	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	東京	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	銚子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	館山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	横浜	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	横須賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	三崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	長野	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松本	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高遠	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	飯田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴

十一月七日

氣壓　溫度　風　雨量　天氣

區別	測候所	午前六時	午前八時	午前六時	最高	最低	風向	風速	雨量	天氣
一	根室	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	寿都	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	小樽	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	札幌	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	岩見沢	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	網走	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	北見	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	紋別	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	帯広	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	釧路	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	厚岸	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浦河	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	函館	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松前	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	江差	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
二	寿都	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	山形	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	白河	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮古	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	石巻	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	秋田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	酒田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	新潟	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	相川	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	高田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	伏木	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	金沢	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	輪島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福井	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	敦賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	豊岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	鳥取	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	米子	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	松江	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	浜田	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	西郷	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	岡山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	津山	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
三	長崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	佐世保	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	厳原	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福江	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	口之津	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	熊本	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	八代	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	阿久根	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	鹿児島	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	宮崎	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	延岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	都城	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	大分	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
四	佐賀	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	福岡	二九・九	二九・九	四八	五二	四六	東北東	四	〇・〇	快晴
	飯塚	二九・九	二九・九	四八	五二

○辯護士口述試驗目時割

明治四十三年十一月十五日

辯護士試驗委員長　河村譲三郎

○講習生募集

明治四十三年十一月一日ヨリ次學ノ授ケラルヘキ講習會ヲ開ク志願者ハ左記要領ヲ心得來ルヘシ

明治四十三年十一月

京都帝國大學京都醫科大學

○購買入札

明治四十三年十一月十五日

遞信省經理局

○請負入札

明治四十三年十一月十五日

第五師團經理部

○工事請負入札

明治四十三年十一月十五日

第十七師團經理部

明治四十三年十一月十五日

横須賀海軍經理部

○請負入札

明治四十三年十一月十五日

大藏省臨時建築部

○購買入札

明治四十三年十一月十五日

大阪砲兵工廠

○特設電話加入申請者所在不明

明治四十三年十一月

名古屋遞信管理局

○免狀遺失

明治四十三年十一月

山形縣

明治四十三年十一月

大分縣

明治四十三年十一月

鹿兒島縣

明治四十三年十一月十五日

印刷局會計部

明治四十三年十一月十五日

横濱稅關

明治四十三年十一月十五日

東京砲兵工廠

明治四十三年十一月十五日

鐵道院新庄建設事務所

第8221号　本文

明治四十三年十一月十五日　第二師團經理部藏留員

明治四十三年十一月十五日　横須賀海軍工廠會計部

明治四十三年十一月十五日　吳海軍工廠會計部

明治四十三年十一月十五日　文部大臣官房建築課

明治四十三年十一月十五日　釀造試驗所

明治四十三年十一月十五日　東京砲兵工廠

明治四十三年十一月十五日　宇都宮陸軍兵器支廠

○入札掛下

○商業登記

第8221号　本文

第8221号　本文

○法人登記

○準禁治産宣告

○禁治産宣告取消

○公示催告

○失踪宣告

第8221号　本文

大分縣北海部郡青江村大字上青江三千二百九十二番地平民農
不在者 仲野賀治
嘉永六年六月十八日生

右ノ者ニ對シ弟仲野三代吉ノ申立ニ因リ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年十一月九日

臼杵區裁判所
判事 横手嘉一

福島縣相馬郡鹿島町大字鹿島字町百六十九番地平民商
不在者 福島 寅吉
明治十一年十二月十七日生

當裁判所ハ明治四十三年十一月九日福島縣相馬郡鹿島町大字鹿島字町百六十九番地福島イノノ申立ニ因リ前記ノ者ニ對シ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年十一月九日

中村(福島地方裁判所管内)區裁判所
判事 味岡道雄

○華族世襲財産

山口縣厚狹郡須惠村ノ内
一田畦畔共合段別三段八畝二十五歩 公爵毛利元昭所有

右世襲財産ト爲シタキ旨願出テタル趣宮内大臣ヨリ通牒セラル依テ該財産ニ對シ故障アル者又ハ地番等承合シタキ者ハ來ル十二月二十二日マテニ當廳ニ申出ツヘシ

明治四十三年十一月十五日

山口縣

○公債當籤

本年(十月)大阪市告示第七十七號ニ依リ第一回水道公債元金六万八千圓第二回水道公債元金四万五千圓第一回築港公債元金三万四千八百圓第二回築港公債元金四千四百圓償還ノタメ十月二十七日抽籤執行ノ結果左記ノ證書當籤セリ

當籤證書ノ元金ハ來ル十二月一日ヨリ左記取扱所ニ於テ證書引換ニ之ヲ支拂フヘシ

明治四十三年十一月四日

大阪市參事會
大阪市長 植村俊平

水道公債元金償還取扱所

大阪市東區淡路町二丁目	株式會社浪速銀行
同 東區唐物町二丁目	山口銀行
同 西區立賣堀北通五丁目	株式會社浪速銀行西區支店
同 西區京町堀通二丁目	山口銀行京町堀支店
同 西區西長堀南通五丁目	同行西支店
同 南區安堂寺橋通二丁目	株式會社浪速銀行南支店
同 南區難波元町二丁目	同行難波支店
同 南區長堀橋筋二丁目	山口銀行南支店
同 南區瓦屋町五番町	同行高津支店
同 北區天神橋筋一丁目	同行北支店
東京市日本橋區通三丁目	株式會社浪速銀行東京支店
京都市下京區室町六角下ル	同名古屋銀行支店
横濱市本町四丁目	同第百銀行支店
神戸市榮町三丁目	同浪速銀行神戸支店
名古屋市西區傳馬町七丁目	同明治銀行
奈良市角振町	同六十八銀行支店
和歌山市本町一丁目	同浪速銀行和歌山支店
堺市熊野町	同行堺支店
徳島市船馬町	同阿波商業銀行
岡山市西大寺町	同二十二銀行
同市上之町	山口銀行岡山支店
熊本市米屋町一丁目	株式會社肥後銀行

築港公債元金償還取扱所

大阪市東區高麗橋四丁目	株式會社三十四銀行
同 東區南久寶寺町二丁目	同行南支店
同 北區樋上町	同行天滿支店
同 西區京町堀上通五丁目	同行雜喉塲支店
同 西區北堀江一番町	同行堀江支店
神戸市榮町通三丁目	同行神戸支店
同市兵庫小物屋町	同行兵庫支店
京都市烏丸通六角上ル	同行京都支店
東京市日本橋區伊勢町	株式會社二十銀行
横濱市南仲通二丁目	同横濱七十四銀行

當籤證書、金額、種類、記號及番號

第一回水道公債證書

千圓 い號

二五	四二	四九	八〇	一一一	一三三	一三四	三〇〇
三一〇	三一二						

計十枚 金額一万圓

五百圓 ろ號

三	四	六七	七〇	八〇	八四	一四〇	二二七
二二八	二四〇	二六一	三四八	三五九	三七九	三八〇	四七〇
四七五	五一七	六一六	六一八	六八二	六八五	六九二	六九五
六九六	六九七	七〇七	七三〇	七五一	七六四	七六五	八〇四
八三八	八五三	八六一	九五九	九六一			

計三十七枚 金額一万八千五百圓

百圓 は號

九五	一三〇	一三五	一六〇	二三七	二三八	二八二	三〇一
三二一	三二八	三七七	四二六	五〇九	五一〇	五一一	五一四
五一五	五二七	五七二	六一七	六六七	七〇〇	七一七	七二〇
七六八	八一一	八四二	八九七	九〇五	九〇七	九一〇	一〇二〇
一〇二一	一一〇九	一一四二	一二三三	一二三四	一二三五	一二六二	一二六七
一三四〇	一三四二	一三六四	一三七五	一四〇一	一五〇二	一五〇五	一五〇六
一五四〇	一五四九	一五七二	一五七四	一五七五	一六一三	一六四〇	一六四五
一六五七	一六五八	一六八五	一七〇六	一七〇七	一七七二	一八七一	一八七二
一八八五	一九〇〇	一九一一	一九五七	一九七四	一九七五	一九九五	二〇七九
二一〇二	二一一六	二一四七	二二〇〇	二三八八	二三八九	二四〇八	二四〇九
二四一四	二四一七	二四七一	二四八四	二五七六	二六二一	二六七七	二七〇三
二七三六	二七六四	二八一九	二八二一	二八五五	二八六〇	二八八九	二九一七
三〇二二	三〇六三	三一〇八	三一〇九	三一一〇	三一二二	三一九二	三二〇九
三二八四	三三六四	三四二四	三四二五	三四二六	三四九四	三四九五	三五一八
三五一九	三五二〇	三五二一	三五二二	三五五七	三五五八	三五五九	三五六〇
三五六一	三五六二	三五六七	三五八一	三六三九	三七四五	三七四九	三七八七
三八〇八	三八四六	三八四七	三八四八	三八四九	三九五八	三九六四	四〇一五
四〇六六	四一七四	四二九九	四三三二	四三四八	四三五〇	四三七〇	四三八二
四四一三	四四一六	四四三二	四四四九	四四五八	四四六一	四四六二	四四六三
四四九七	四五五八	四五九二	四五九三	四五九四	四五九九	四六二九	四七五三
四七五七	四七八三	四七八四	四八二一	四八三〇	四九一九	四九三〇	四九九〇
五一〇一	五一六三	五一六五	五一七〇	五二四七	五三三九	五三九九	五四〇六
五六六六	五六七三	五六七四	五六七五	五六七六	五六七七	五六七八	五六七九
五六九八	五六九九	五七〇五	五七四六	五七四七	五七六〇	五七八七	五八一九
五八八二	五八八七	五九九三	五九八五	六〇一二	六〇一九	六〇四一	六〇四二
六〇五九	六一六二	六一六三	六一六七	六一六八	六一六九	六一七〇	六二〇〇
六二二五	六二四一	六二九二	六三六五	六三六六	六三六七	六三六八	六三六九
六三七〇	六三七一	六三七七	六三八一	六三八三	六四〇六	六四三二	六四三三
六四三五	六四五九	六四六〇	六四六八	六四七五	六四七七	六五二〇	六五二一
六五二八	六五三二	六五九八	六六九五	六七五〇	六七五八	六七八四	六八〇一
六八三四	六八三五	六八七四	六八八〇	六八八三	六八八四	六八八五	六八八八

六九〇四	六九〇五	六九四三	六九六五	六九六六	六九七四	七〇〇八	七〇〇九
七〇四八	七〇六七	七一二一	七一七八	七一九一	七二五六	七三四〇	七三七一
七四二〇	七四二五	七四八三	七四八四	七四八五	七四八六	七五三五	七五八六
七五八七	七五九七	七六九八	七七〇九	七七一〇	七七一一	七七三五	七七三六
七七八三	七七八四	七七八五	七七八六	七七八七	七七九一	七八二七	七八二八
七八六九	七九五六	八〇三四	八〇三八	八〇七一	八〇九三	八一五四	八一九二
八二〇四	八二一〇	八三二七	八四〇一	八四三四	八四五四	八四五五	八四六九
八五〇六	八五二五	八五三五	八七三八	八七七七	八七七九	八七八〇	八八四九
八八五六	八八五九	八八六〇	八八六一	八八六二	八八六五	八八六八	八九三五
九〇四三	九一〇一	九一四七	九一五六	九一七八	九一八一	九一八二	九一八三
九一八四	九一八五	九二五八	九二八一	九三三〇	九三六八	九三八二	九三九四
九四二九	九四三〇	九四三九	九四四〇	九四五四	九五〇八	九五五八	九五五九
九五八一	九六三七	九六五〇	九六六五	九七三一	九七四七	九七九七	九八三六
九八四一	九八七九	九九一八	九九一九				

計三百五十六枚 金額三万五千六百圓

五拾圓 に號

八三	八八	八九	一〇二	一三四	一六四	二三七	二三三
二五六	三六三	四三二	四六五	五二八	七〇〇	七〇一	七一三
七一四	七三一	七六二	八四九	八六四	八九〇	九二四	九二七
九四三	九六六	一〇〇八	一〇四五	一〇五二	一〇六九	一一〇七	一一二一
一一三七	一一五七	一一七九	一一八〇	一三三〇	一三三一	一三三二	一三六八
一四四二	一四四五	一四四六	一四五三	一四六九	一四七〇	一四七一	一四七二
一四八一	一四八二	一四八三	一四九二	一五四七	一五七〇	一六一九	一六二六
二七〇六	一七三五	一七九〇	一八一九	一八七六	一八八八	一九八六	一九九七

計六十四枚 金額三千二百圓

貳拾五圓 ほ號

四二	八七	一一二	一九二	二〇〇	二一五	二二一	二二二
二二三	二九四	三一三	三三九	三四五	三五〇	三七〇	三七一
三七七	三八四	四六五	四七六	四九五	五一二	五四八	五六六
六三八	六三九	六六七	七六九				

計二十八枚 金額七百圓

第二回水道公債證書

千圓 へ號

九七	一四〇

計二枚 金額二千圓

五百圓 と號

四九	六〇	一〇四	一二一	一二二	一二三	一四六	一五五
一六四	一六五	一七一	一七四	二一九	二四四	二六一	二六六
二八四	三〇八	三二六	四〇五	四〇六	四一二	四二八	五〇六
五一四							

計二十五枚 金額一万二千五百圓

百圓 ち號

五	八	一一	一六	三四	六〇	一三五	一三六
一四二	一七八	一八八	一九九	二〇〇	二一一	二一四	二三一
二四七	二八五	二八九	三三五	四〇二	四〇八	四二三	五〇九
五一九	五四五	五四六	五六七	五六八	五六九	五七三	六〇〇
六〇二	六一九	六二四	六二五	六二六	六二八	六九七	七三七
七五六	七九六	八二九	八四三	八七一	八七二	八七六	八八三
八九三	八九四	八九五	八九六	八九七	九〇七	九一六	九二四
九四三	九八三	九九〇	一〇〇七	一〇一七	一〇一九	一〇三七	一〇五八
一一〇五	一一二七	一一三七	一一四八	一一八九	一二一二	一二一五	一二一六
一二八三	一二九二	一三〇七	一三四一	一三九六	一四二〇	一四二五	一四二六
一四二七	一四六〇	一四六八	一四八一	一四九〇	一五〇九	一五一六	一五一八
一五二四	一五六三	一五六六	一五七六	一五九四	一五九六	一六〇六	一六〇七
一六〇八	一六〇九	一六一〇	一六一一	一六一二	一六一三	一六七八	一七三五
一七七七	一八〇〇	一八一三	一八三五	一八四九	一八六二	一八七七	一八九〇
一九八八	二〇〇五	二〇二〇	二〇二五	二〇五二	二〇五四	二〇六七	二〇六八
二〇八四	二一〇一	二一〇二	二一〇九	二一三五	二一三六	二一五六	二二六六
二二六七	二二八二	二二八八	二二九三	二三三九	二四一六	二四三〇	二四八七
二四九八	二五一八	二五一九	二五二四	二五三二	二五九三	二五九四	二五九八
二六〇六	二六一七	二六二六	二六三七	二六五三	二六八五	二六八六	二六九二
二六九三	二六九四	二六九五	二六九六	二七三五	二七三六	二七四五	二七四六
二七六二	二七七六	二七九一	二七九二	二八一一	二八二〇	二八二五	二八三五
二八三六	二八四二	二八四三	二八四四	二九一三	二九二四	二九六一	二九六四
二九八八	二九九九	三〇〇〇	三〇一二	三〇四八	三〇五八	三〇七六	三〇八九
三一〇七	三一一八	三一三一	三一三二	三一三七	三一三九	三一五五	三一六二
三二四九	三二五四	三二六一	三二六二	三二六三	三二六八	三三一六	三三二八
三三三七	三三六九	三三九八	三四〇四	三四三五	三四九八	三五五二	三五七三
三五七九	三六〇七	三六〇八	三六〇九	三六二三	三六三六	三六四一	三六八三
三六八五	三七一〇	三七一六	三七一七	三七二四	三七二五	三七四一	三七四五
三七六〇	三七六三	三七八七	三八〇三	三八三五	三八三六	三八三八	三八四七
三八七五	三八八六	三九〇一	三九一五	三九三一	三九五八	三九六一	三九六五
三九七五	三九七八	三九七九	三九八〇	三九八四	三九八五	三九八六	四〇二四
四〇三三	四〇八一	四〇八二	四〇八三	四〇八四	四一二六	四一二七	四一二九
四一三〇	四一四九	四一五五	四一七〇	四一八四	四一九五	四一九六	四一九八
四一九九	四二一四	四二一七	四二一八	四二二九	四二三〇	四二三一	四三〇〇
四三〇二	四三二六	四三五八	四三五九	四四二〇	四五〇三	四五一五	四五三〇
四五三一	四五三九	四五五〇	四五五一	四五五二	四五五四	四五六八	四五八三
四五八四	四五八五	四五八六	四五八七	四六二三	四六四六	四六五二	四六五三
四六五五	四六六二	四六七一	四六七八	四六九九	四七一五	四七二五	四七三六
四七四八							

計三百五枚 金額三万五百圓

第一回築港公債證書

千圓 り號

一〇九五	一四四五	一七六一	四三七五	四四九六	五三七二	五五六八	五八三九
六八三二	七〇七九	七三一一	八四〇六	九〇三一	九四七九	一〇〇八六	一〇四三三

計十六枚 金額一万六千圓

五百圓 ぬ號

三五七	六一八	一三一五	一六八九	一八四五	二三八八	二九七〇	三二六三
三三〇〇	三九二六	四二九〇	四四九一	四七四七	四八六九	五〇三四	五〇五二
五三七一	五六〇〇	五六九六	五八四七	六一〇九	六六六五	七七九四	七八四五
八三五三	八六七三	八九九七	九六二四	九六九八	九八二四	九八五八	一〇二三四

計三十二枚 金額一万六千圓

百圓 る號

二五三	三二六	四四八	一〇二二	一一三八	一一四〇	一三九六	一六〇五

第8221号 本文

二六五七	二七一六	三二六五	三五〇〇	三五〇九	四三五六	四五六四	四七〇三
四九三四	五六四九	六二九〇	七三四二	八三八三	八五七八	八九二八	九三五七
九六五〇	九六五三	九七〇六	九八六六				

計　二十八枚　金額二千八百圓

第二回鐵道公債證書

千	圓	五四〇	お	號	
四六二	計	二	枚	金額二千圓	
五百圓	五六	四四三	號	八六〇	
計	三	枚	金額千五百圓		
百	圓	六六	八九四	一七九四	一八七六	二五七九	三二六九	三五七〇	四四三三
五〇六八									

計　九　枚　金額九百圓

上記當籤證書中左ノ各號ニ該當スル第一回鐵道公債證書ニ對スル償還ハ英國倫敦サミユル、サミユル商會株式會社第三銀行（東京）及同銀行大阪支店ニ於テノミ取扱フヘキモノナリ

千	圓	六八三二	八四〇六	九四七九	一〇〇八六
五百圓	八六七三	九六二四	九六九八	九八二四	九八五八	一〇二三四

正誤

本月十一日本欄商業登記ノ項中福島（福島地方裁判所管內）區裁判所ノ部代表社員ノ氏名太宰亥之助ハ太宰亥之吉ノ誤植

○東京中央郵便局外國郵便締切時限

明十六日救賀マヂ汽車便送同地ヨリ「アリヨール」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾（智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通（普通	十六日午後七時	市內集配局	小	包	同	上
常（書留	同日午後六時半	十六日午後五時	爲（聯合	同日午後四時	
價格表記	同	上	替（特別	同日正午十二時	
（廻老）				同日午前九時半	

露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

同日長崎マヂ汽車便送同地ヨリ龍野丸ヲ以テ香港經由漢洲及印度以遠ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通（普通	十六日午後二時	市內集配局	價格表記	同	上
常（書留	同日午後一時半	香港爲替	十六日午後一時	十九日午前九時半
	同日午前十時半				

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一加拿陀經由歐米諸國宛	十八、二十七日頃締切ノ筈
一シヂトル經由同	十九、二十三日頃締切ノ筈
一布哇經由同	二十三、三十日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭及烏爾圭ニ限ル）宛	毎月曜日午後二時鳳山丸（水曜日午後七時露國義勇艦隊船同上同上

上海、香港ヘ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ豫メ差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

安藝丸	本月三十三日正午十二時橫濱出帆	同二十六日午前十一時	神戶出帆	門司、長崎、上海、香港、新嘉坡、
彼南（コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ）行				

米國行

丹後丸	本月十八日正午十二時神戶出帆	同二十三日午後二時橫濱出帆、ビクトリア、シアトル）行			

濠洲行

熊野丸	今十五日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、		
シドニー、メルボルン）行					
八幡丸	十二月十日正午十二時橫濱出帆	同二十六日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、	
タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン）行					

上海、香港行

博愛丸	今十五日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、上海行		
阿波丸	明十六日午前十時	橫濱出帆	本月十九日午前十時	神戶出帆	門司、上海、香港行
筑前丸	明後十七日午前十時	橫濱出帆	本月十九日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、上海行
弘濟丸	本月二十日午前十時	橫濱出帆	同二十二日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、上海行
春日丸	同二十四日午前十時	橫濱出帆	同二十六日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、上海行

朝鮮、北清方面行

相模丸	明後十七日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、芝罘、大沽行		
山東丸	十二月五日午前十時	神戶出帆	門司、長崎、釜山、仁川、大連、芝罘、秦皇島行		

臺灣行

信濃丸	神戶發正午十二時	（毎月三十一日	門司發午後四時	（毎月十九日	基隆著	（毎月二十二日
豐岐丸	神戶發正午十二時	（毎月十八日	門司發午後四時	（毎月二十一日	基隆著	（毎月二十五日
浦潮斯德行						

立神丸　本月二十七日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、元山、浦潮、浦潮斯德行

小笠原島行

肥後丸　本月十九日午後二時橫濱出帆八丈島、父島、母島（沖東漠）行

本州、北海道連絡線

每日（午後八時	青森發	翌朝八時中	室蘭著
午後五時	室蘭發	翌朝五時	青森著

○大阪商船株式會社汽船出發表

朝鮮行

恒春丸	今十五日正午十二時	神戶出帆	門司（下關）釜山、元山、西湖津、新浦、城津、清津行		
天智丸	同日午後一時	神戶出帆	門司（下關）釜山、木浦、群山、仁川（京城）行		

臺南丸　今十五日午前十時神戶出帆翌十六日午後一時門司出帆大連行

嘉義丸　本月十八日午前十時神戶出帆翌十九日午後一時門司出帆大連行

大智丸　同二十日午前十時神戶出帆門司、天津行

同二十一日午後四時神戶出帆翌二十二日午後四時宇品出帆門司、大連行

天草丸　同二十五日午前十時神戶出帆門司、天津行

大信丸　同二十七日午前十時神戶出帆門司、大連行

（天津行ハ白河ヲ溯航シ居留地碼頭ニ橫付ス）

米國行

えかさ丸	本月十八日午後	橫濱出帆	ビクトリア、タコマ、シアトル行		
ばなま丸	同日午前	橫濱出帆	神戶、門司、上海、香港行		

臺灣行

臺北丸	明十六日午後三時	橫濱出帆	水月十九日正午十二時	神戶出帆	宇品、門司、基隆、澎湖島、安平、打狗行
第二辰丸	同日午前八時	神戶出帆	門司、基隆、安平、打狗行		
さくら丸	每月一日、十五日午後二時	神戶出帆	門司、基隆行		
笠戶丸	每月八日、二十四日正午十二時	神戶出帆	門司、基隆行		

官報 8221 本文